

千葉県地方創生に係るアンケート

報告書

令和3年12月

千葉県

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の項目	2
4. この報告書の見方	2
5. 回答者の属性	2
II 調査結果の要約	7
III 調査結果の詳細	10
1. 進路に関する希望について	
(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望	10
(2) 第一志望の学校の所在地	11
2. 将来の就職に関する希望について	
(1) 就職を希望している業界	12
(2) 希望する勤務地	16
(3) 県内に勤務を希望する理由	18
(4) 県内での勤務を希望しない理由	22
3. 将来の居住地の希望について	
(1) 就職後の居住地の希望	26
(2) 県内で希望する居住地	28
(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由	32
(4) 県内を居住地に選ばない理由	36
(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	40
4. 地域の魅力について	
(1) 住んでいる地域の魅力	44
5. 居住地域・出身地域別分析	
(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望	48
(2) 高校生の第一志望の学校の所在地	49
(3) 高校生の就職を希望している業界	50
(4) 高校生の将来希望する勤務地	51
(5) 高校生の就職後の居住地の希望	52
(6) 高校生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	53
(7) 高校生の住んでいる地域の魅力	54
(8) 大学生・短期大学生の就職を希望している業界	55
(9) 大学生・短期大学生の将来希望する勤務地	56
(10) 大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望	57
(11) 大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	58
(12) 大学生・短期大学生の住んでいる地域の魅力	60

I 調査概要

1. 調査の目的

本県における地方創生の着実な実現のためには、特に若い世代に居住地として選ばれることが重要であり、就職や結婚・出産・子育て、住まい等に関する希望をかなえる環境の整備などを進めることが重要である。

そのため、今後の本県の各種施策をより効果的に実施していくため、県内の高等学校生や、大学生・短期大学生を対象として、意識調査（アンケート）を実施する。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県内の高校・大学・短期大学34校（下図表参照）の生徒
- (2) 調査方法 高校生：対象校の生徒に対してアンケート票の配布・回収
大学生：電子アンケートで回答
- (3) 調査期間 高校生：令和3年6月18日～9月6日
大学生：令和3年7月1日～8月31日
- (4) 回答状況 2,586人（高校生 1,148人、大学生・短期大学生 1,438人）

〈図表 アンケートを配布した学校名及び回答者数〉

	学校名	種別	学科	学区	学年	回答者数
県立高等学校	1 千葉	高等学校	普通科	1	2	38
	2 千葉商業	高等学校	商業科	1	2	42
	3 千葉南	高等学校	普通科	1	2	41
	4 船橋	高等学校	理数科	2	2	39
	5 市川工業	高等学校	工業（機械科）	2	2	34
	6 松戸国際	高等学校	普通科	2	2	40
	7 東葛飾	高等学校	普通科	3	2	36
	8 清水	高等学校	機械科	3	2	40
	9 鎌ヶ谷	高等学校	普通科	3	2	39
	10 佐倉	高等学校	普通科	4	2	40
	11 八街	高等学校	総合学科	4	2	38
	12 佐原	高等学校	普通科	5	2	38
	13 東総工業	高等学校	工業科	5	2	38
	14 成東	高等学校	普通科（特進クラス）	6	2	42
	15 東金商業	高等学校	情報処理科	6	2	38
	16 長生	高等学校	普通科	7	2	42
	17 一宮商業	高等学校	情報処理科	7	2	38
	18 安房	高等学校	普通科	8	2	41
	19 安房拓心	高等学校	総合学科	8	2	33
	20 木更津	高等学校	普通科	9	2	38
	21 君津商業	高等学校	情報処理科	9	2	38
県立高等学校（21校）小計						813
私立高等学校	22 渋谷教育学園幕張	高等学校	普通科	-	2	36
	23 市川	高等学校	普通科	-	2	43
	24 芝浦工業大学柏	高等学校	普通科GSクラス	-	2	42
	25 成田	高等学校	普通科	-	2	40
	26 敬愛大学八日市場	高等学校	普通科（特進コース）	-	2	28
	27 横芝敬愛	高等学校	普通科	-	2	40
	28 茂原北陵	高等学校	家政科・普通科（特別進学コース）	-	2	40
	29 千葉県安房西	高等学校	普通科	-	2	42
	30 東海大学付属市原望洋	高等学校	普通科	-	2	24
県立高等学校（9校）小計						335
短期大学・大学	31 城西国際	大学		-	-	452
	32 千葉	大学		-	-	624
	33 千葉敬愛	短期大学		-	1・2	222
	34 千葉工業	大学		-	-	139
	- その他			-	-	1
大学・短期大学（4校）小計						1,438
合計						2,586

3. 調査の項目

- (1) 進路に関する希望について（高校生のみ）
- (2) 将来の就職に関する希望について
- (3) 将来の居住地の希望について
- (4) 地域の魅力について

4. この報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- (4) 居住地域の分類にあたっては、県内を11の地域にわけ、次のように設定した。

<図表 地域設定>

地域	構成市町村
千葉地域	千葉市、市原市
葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、鎌ヶ谷市、我孫子市
印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取地域	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
山武地域	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生地域	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅地域	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

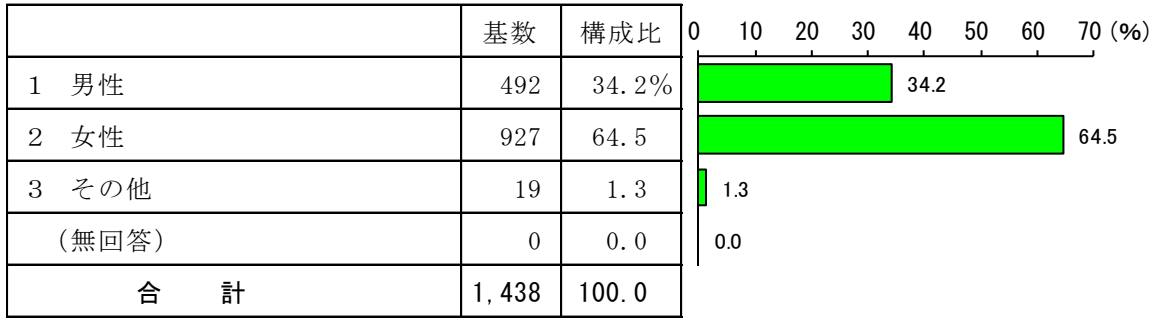
5. 回答者の属性

- (1) 性別

<図表 性別—高校生>



<図表 性別—大学生・短期大学生>



(2) 学科

<図表 学科—高校生>

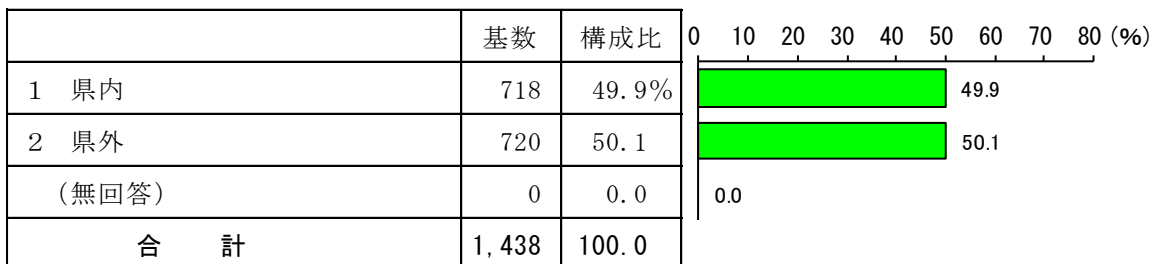


(3) 出身地

<図表 出身地—高校生>

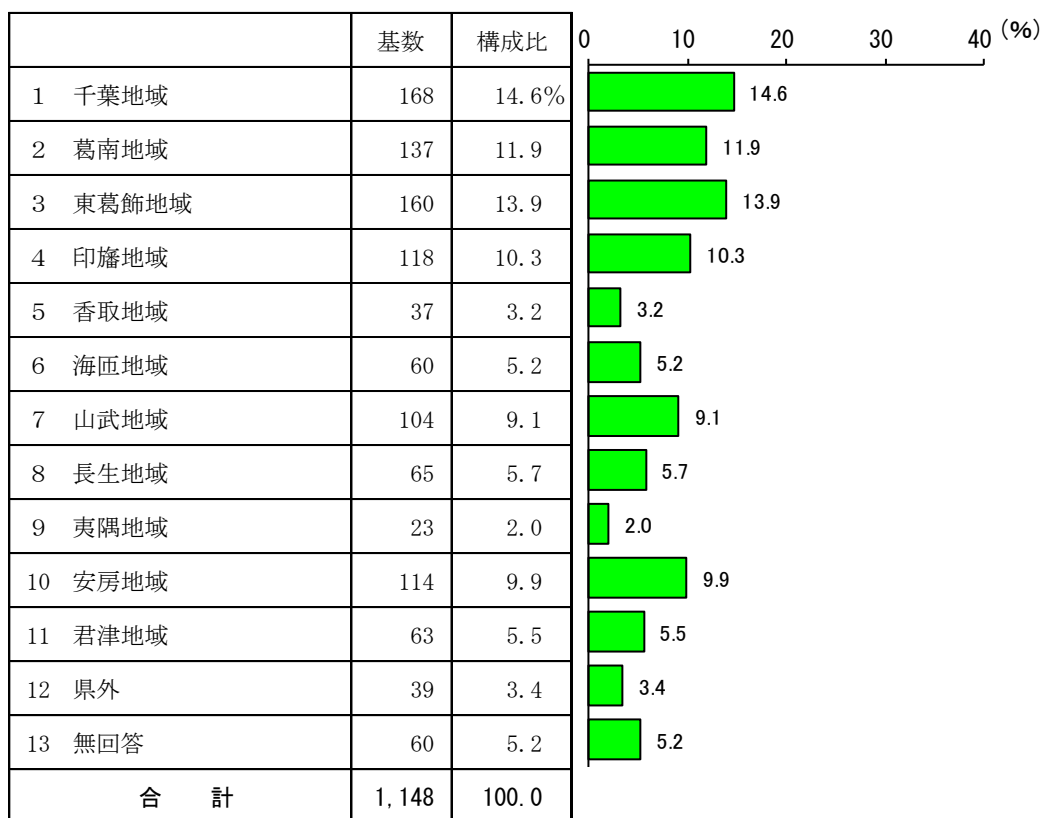


<図表 出身地—大学生・短期大学生>

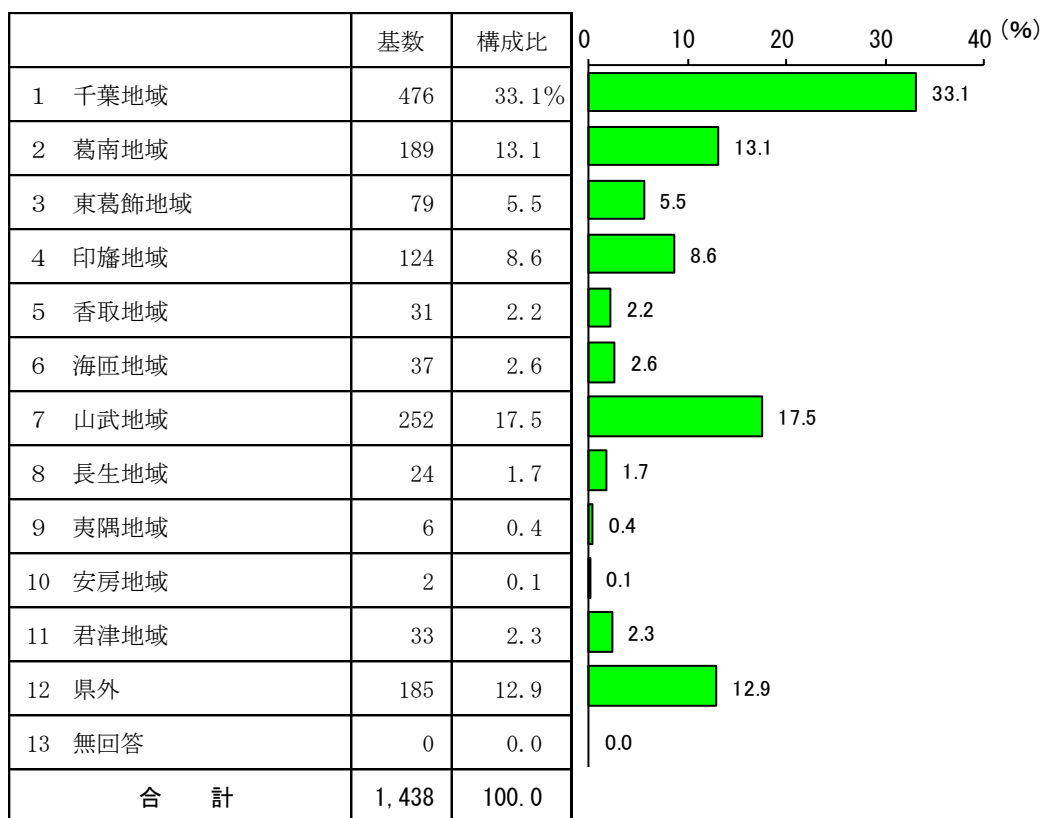


(4) 現在の居住地

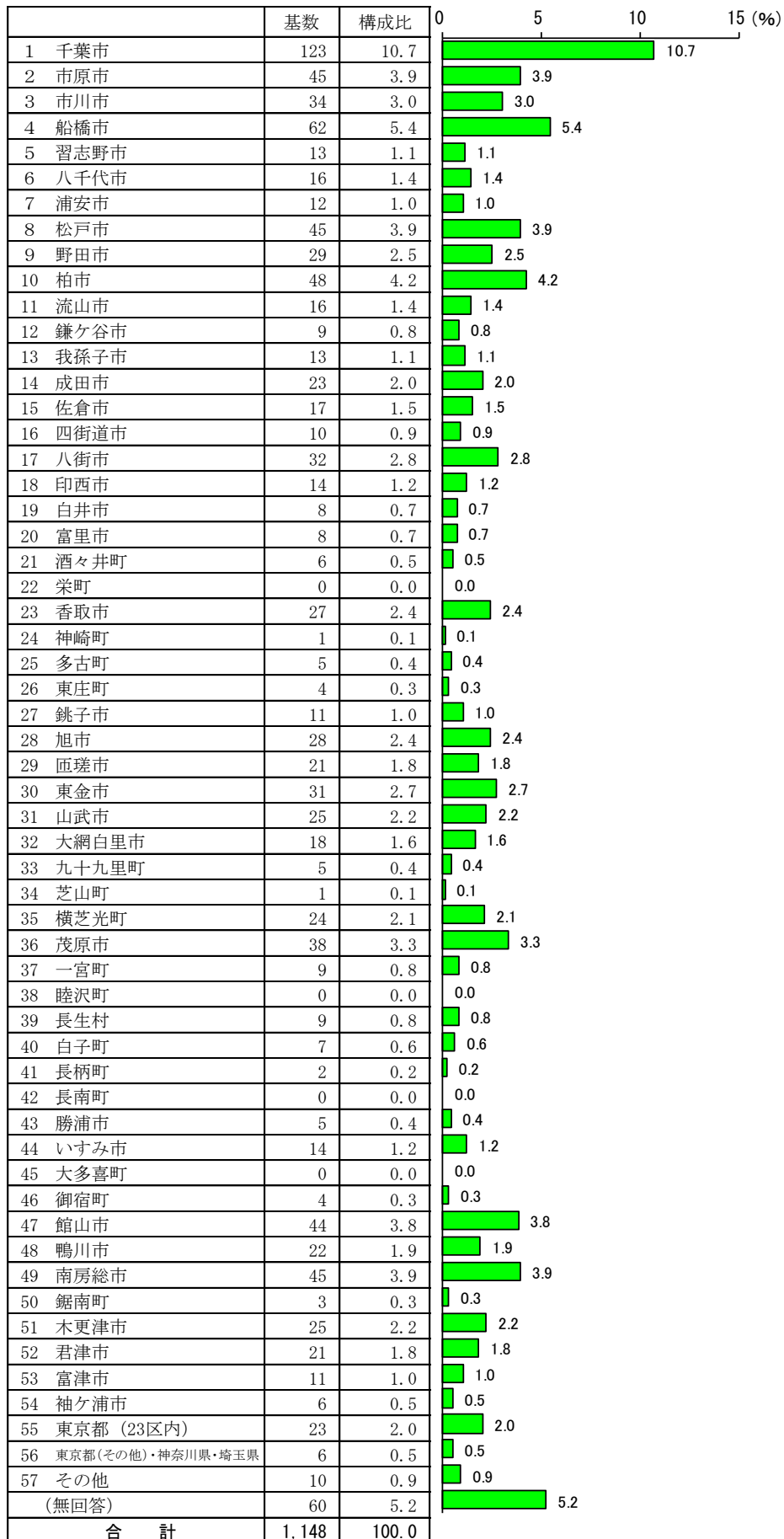
<図表 現在の居住地（地域別）－高校生>



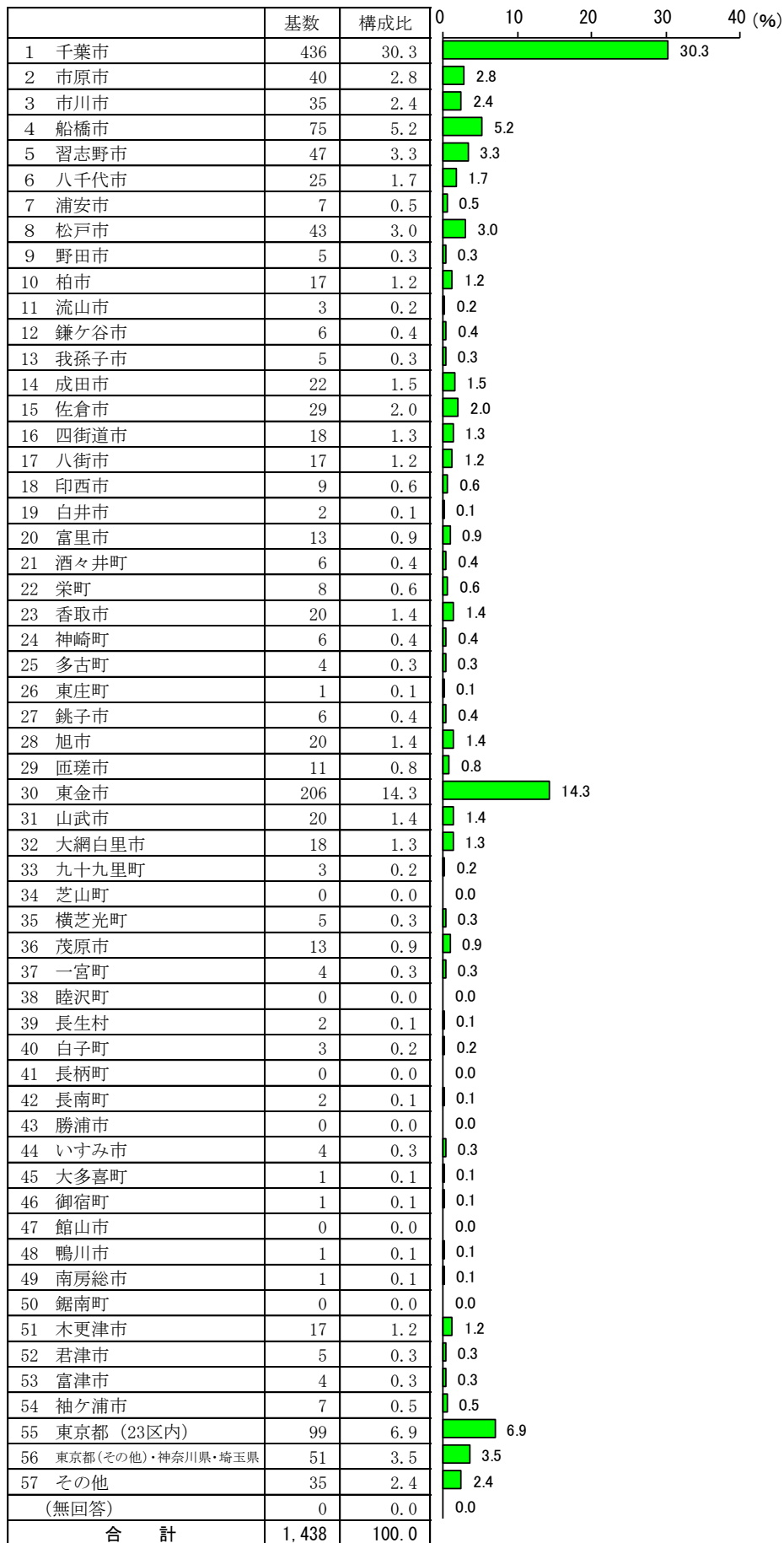
<図表 現在の居住地（地域別）－大学生・短期大学生>



<図表 現在の居住地（市町村別）－高校生>



<図表 現在の居住地（市町村別）－大学生・短期大学生>



Ⅱ 調査結果の要約

1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が66.2%で最も高く、次いで「就職」が14.0%、「専門学校に進学」が11.1%、「短期大学に進学」が1.7%となっている。また、「わからない」は6.1%となっている。

(2) 第一志望の学校の所在地

第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が29.5%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が27.8%となっている。また、「志望校が決まっていない」は20.6%となっている。

2. 将来の就職に関する希望について

(1) 就職を希望している業界

高校生の就職を希望している業界は、「IT関係、ソフトウェア」が11.0%で最も高く、次いで「医療」が10.8%、「教育、保育」が8.1%となっている。

また、「こだわらない」は5.7%、「わからない」は22.9%となっている。

大学生・短期大学生の就職を希望している業界は、「医療」が32.4%で最も高く、次いで「教育、保育」が22.1%、「学術研究、専門・技術サービス」が6.3%、「IT関係、ソフトウェア」が5.8%となっている。また、「こだわらない」は2.4%、「わからない」は6.9%となっている。

(2) 希望する勤務地

高校生の希望する勤務地は、「千葉県内」が32.8%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が17.9%となっている。また、「こだわらない」は23.3%、「わからない」は13.2%となっている。

大学生・短期大学生の希望する勤務地は、「千葉県内」が44.1%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が16.0%となっている。また、「こだわらない」は16.9%、「わからない」は7.3%となっている。

(3) 県内に勤務を希望する理由

高校生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が63.9%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域(県内)で働きたいから」が40.3%、「生活に便利だから」が32.9%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が19.6%となっている。

大学生・短期大学生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が60.3%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域(県内)で働きたいから」が40.7%、「生活に便利だから」が33.4%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が31.7%となっている。

(4) 県内での勤務を希望しない理由

高校生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわりがないから」が43.4%で最も高く、次いで「新しい地域で働きたいから」が21.7%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が13.9%、「大都市やリゾート地などで働きたいから」が13.2%となっている。

大学生・短期大学生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわりがないから」が37.4%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県外）で働きたいから」が21.9%、「新しい地域で働きたいから」が14.9%、「居住地からの通勤に不便だから」が13.8%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が13.6%となっている。

3. 将来の居住地の希望について

(1) 就職後の居住地の希望

高校生の就職後の居住地の希望は、「千葉県内」が39.1%で最も高くなっている。次いで「東京都（23区内）」が11.7%となっている。また、「こだわらない」は20.8%、「わからない」は13.0%となっている。

大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望は、「千葉県内」が45.9%で最も高くなっている。次いで「その他の地域（国内）」が11.5%、「東京都（23区内）」が10.3%となっている。また、「こだわらない」は17.9%、「わからない」は7.0%となっている。

(2) 県内で希望する居住地

高校生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が23.6%で最も高く、次いで「船橋市」が7.1%、「柏市」が3.8%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は18.9%となっている。

大学生・短期大学生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が28.2%で最も高く、次いで「船橋市」が9.7%、「成田市」が5.8%、「市川市」が4.4%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は9.1%となっている。

(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由

高校生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が47.7%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」が36.1%、「交通が便利だから」が34.7%、「都心に近いから」が26.3%となっている。

大学生・短期大学生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が52.1%で最も高く、次いで「交通が便利だから」が37.7%、「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」が34.5%、「希望する働き場所があるから」が23.8%となっている。

(4) 県内を居住地に選ばない理由

高校生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわりがないから」が52.0%で最も高く、次いで「都心まで遠いから」が16.8%、「交通が不便だから」が14.2%となっている。

大学生・短期大学生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわりがないから」が39.6%で最も高く、次いで「県外に自宅があるから」が30.1%、「家族や友人がいる地域（県外）に住みたいから」が24.8%、「都心まで遠いから」が16.6%となっている。

(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「観光・レジャー施設」が31.4%で最も高く、次いで「くらしの安全・安心」が25.6%、「災害に強いまちづくり」が24.0%、「都心へのアクセス」が23.3%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が21.5%、「結婚・出産・子育て環境」が21.3%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「結婚・出産・子育て環境」が33.7%で最も高く、次いで「都心へのアクセス」が28.2%、「災害に強いまちづくり」が28.0%、「くらしの安全・安心」が24.7%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が23.9%となっている。

4. 地域の魅力について

(1) 住んでいる地域の魅力

高校生の現在住んでいる地域の魅力については、「自然環境や生活環境」が35.2%で最も高く、次いで「まつりやスポーツなどのイベント」が31.0%、「道路や鉄道などの交通環境」が22.1%、「観光地やレジャー施設」が15.6%となっている。

大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力については、「自然環境や生活環境」が36.4%で最も高く、次いで「道路や鉄道などの交通環境」が35.2%、「まつりやスポーツなどのイベント」が19.1%、「観光地やレジャー施設」が18.4%、「子育て環境や教育環境」が15.2%となっている。

Ⅲ 調査結果の詳細

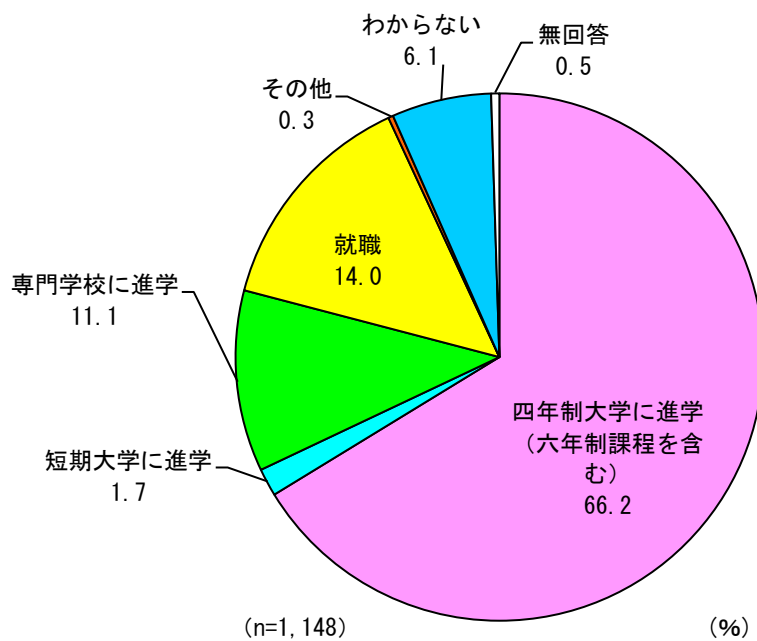
1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望（高校生のみ）

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望はどれですか。

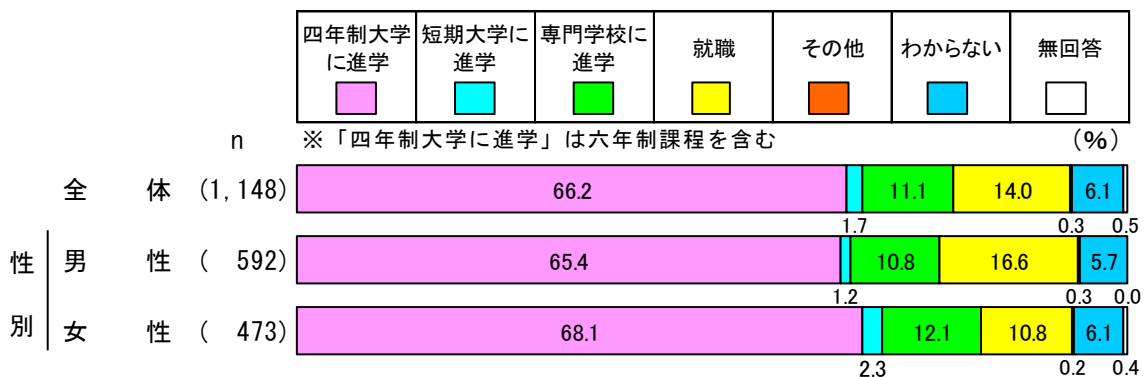
高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が66.2%で最も高く、次いで「就職」が14.0%、「専門学校に進学」が11.1%、「短期大学に進学」が1.7%となっている。また、「わからない」は6.1%となっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生>



性別でみると、「就職」では男性（16.6%）が女性（10.8%）より5.8ポイント高くなっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生（性別）>

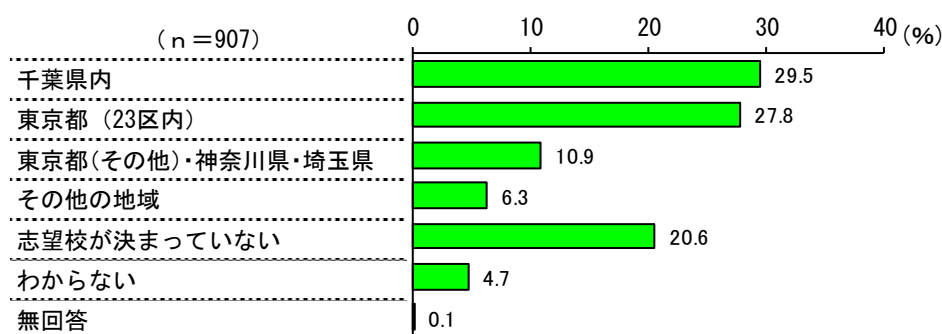


(2) 第一志望の学校の所在地（高校生のみ）

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望で、「四年制大学に進学」「短期大学に進学」「専門学校に進学」と回答した方について、第一志望の学校の所在地はどこですか。

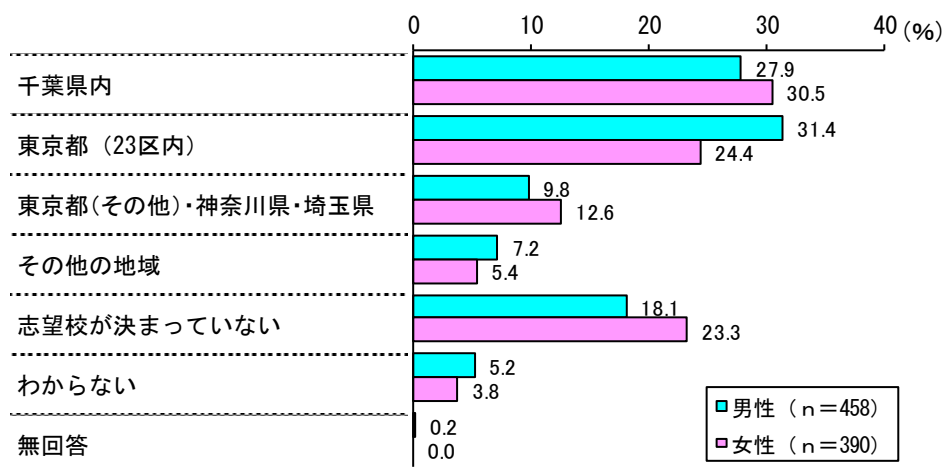
第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が 29.5%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が 27.8%となっている。また、「志望校が決まっていない」は 20.6%となっている。

<図表 第一志望の学校の所在地－高校生>



性別でみると、「東京都（23区内）」では男性（31.4%）が女性（24.4%）より 7.0 ポイント高くなっている。また、「志望校が決まっていない」では女性（23.3%）が男性（18.1%）より 5.2 ポイント高くなっている。

<図表 第一志望の学校の所在地－高校生（性別）>



2. 将来の就職に関する希望について

(1) 就職を希望している業界

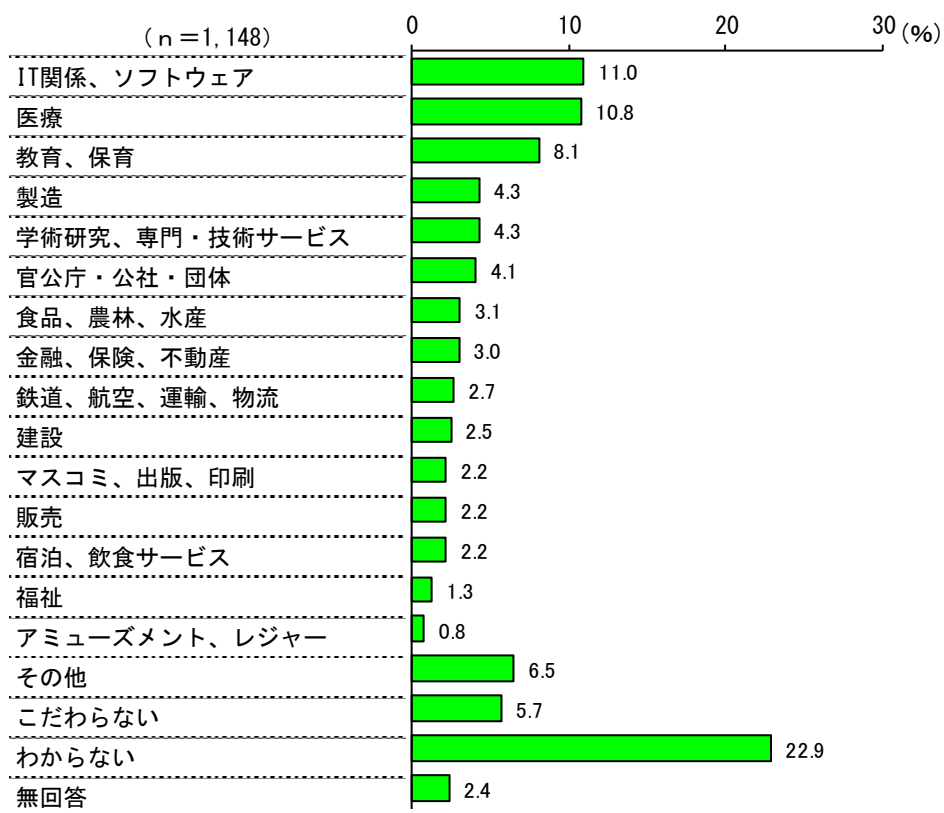
問 将来（高校・大学等の卒業後）、就職を希望している業界はどのようなものですか。
次の中から、最も希望に近いと思うものを1つ選択してください。

① 高校生

高校生の就職を希望している業界は、「IT関係、ソフトウェア」が11.0%で最も高く、次いで「医療」が10.8%、「教育、保育」が8.1%となっている。

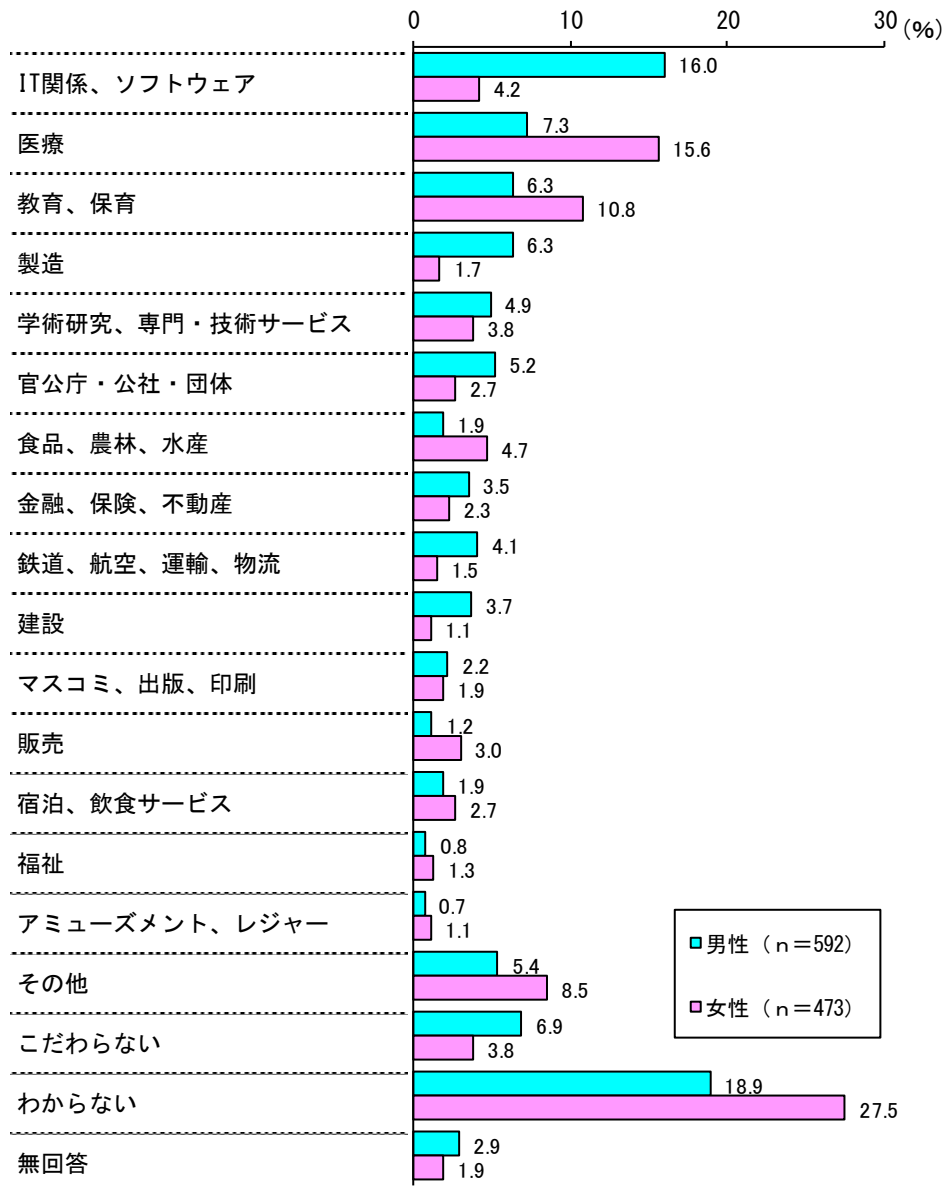
また、「こだわらない」は5.7%、「わからない」は22.9%となっている。

<図表 就職を希望している業界－高校生>



性別で見ると、「IT関係、ソフトウェア」では男性（16.0%）が女性（4.2%）より11.8ポイント高くなっている。一方、「医療」では女性（15.6%）が男性（7.3%）より8.3ポイント高くなっている。また、「わからない」は女性（27.5%）が男性（18.9%）より8.6ポイント高くなっている。

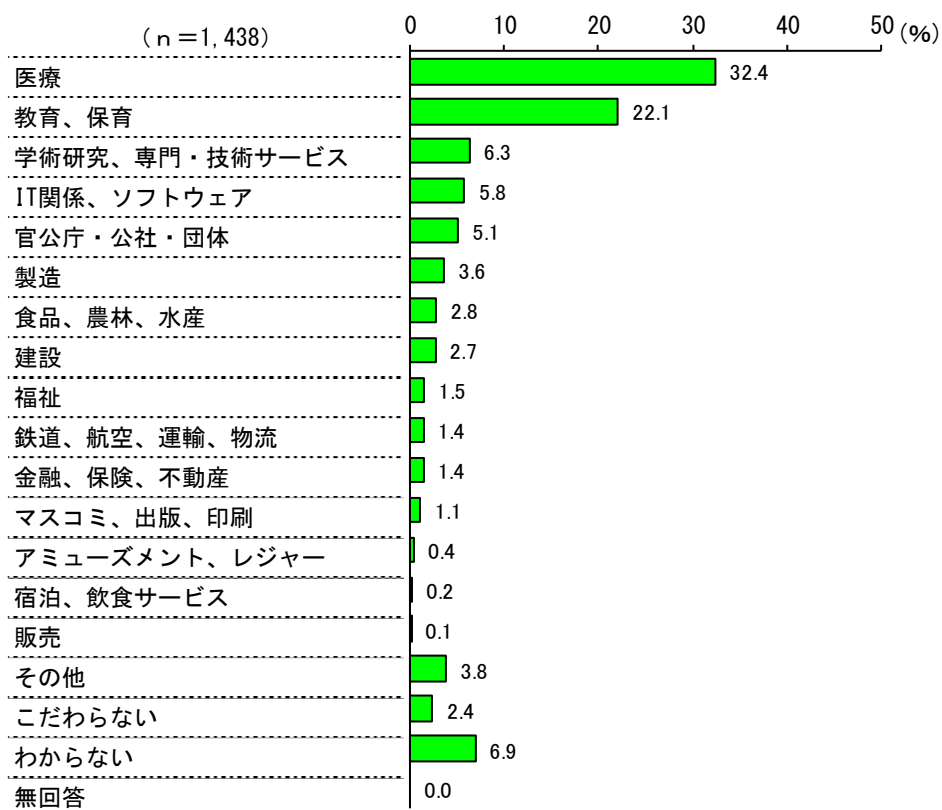
<図表 就職を希望している業界—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

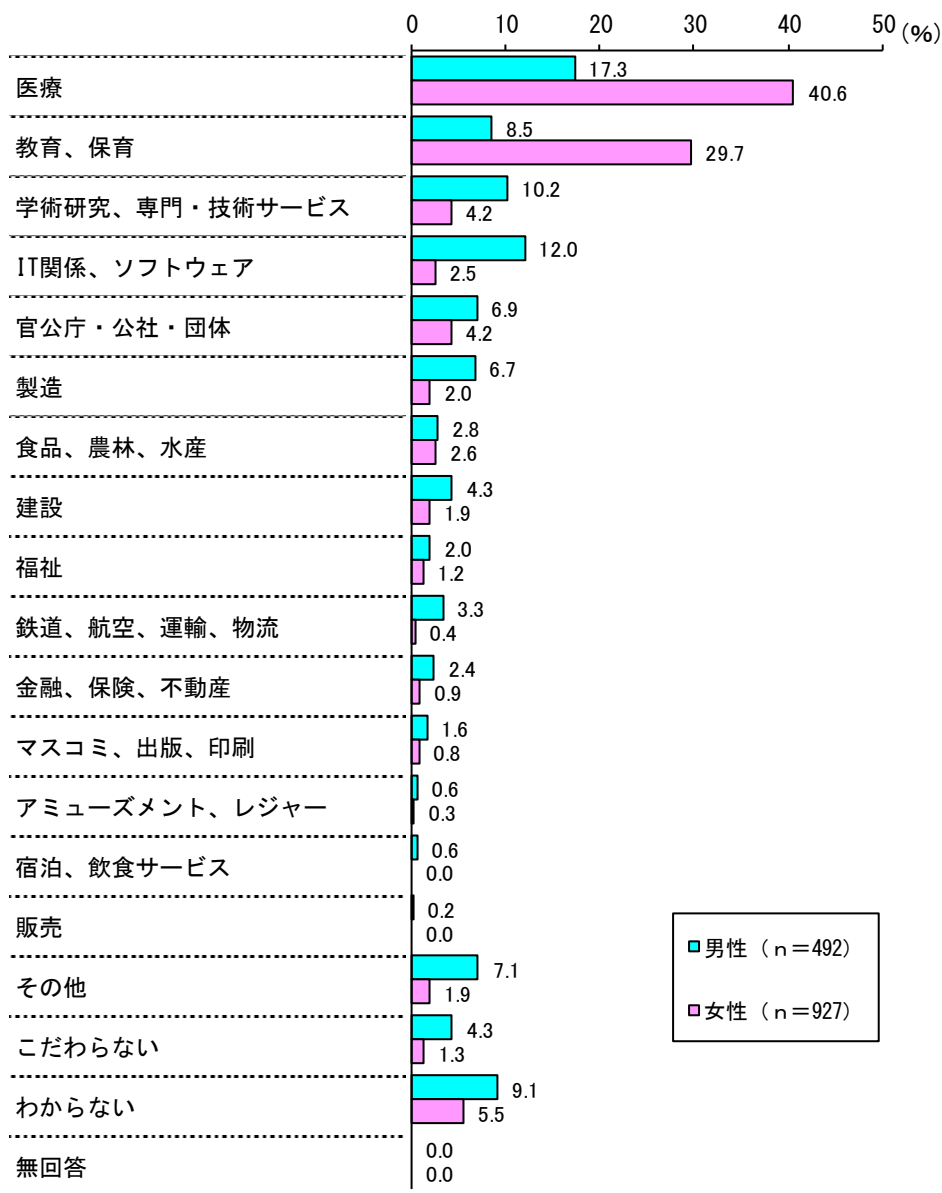
大学生・短期大学生の就職を希望している業界は、「医療」が32.4%で最も高く、次いで「教育、保育」が22.1%、「学術研究、専門・技術サービス」が6.3%、「IT関係、ソフトウェア」が5.8%となっている。また、「こだわらない」は2.4%、「わからない」は6.9%となっている。

<図表 就職を希望している業界—大学生・短期大学生>



性別でみると、「医療」では女性（40.6%）が男性（17.3%）より23.3ポイント、「教育、保育」では女性（29.7%）が男性（8.5%）より21.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「IT関係、ソフトウェア」では男性（12.0%）が女性（2.5%）より9.5ポイント、「学術研究、専門・技術サービス」では男性（10.2%）が女性（4.2%）より6.0ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 就職を希望している業界—大学生・短期大学生（性別）>



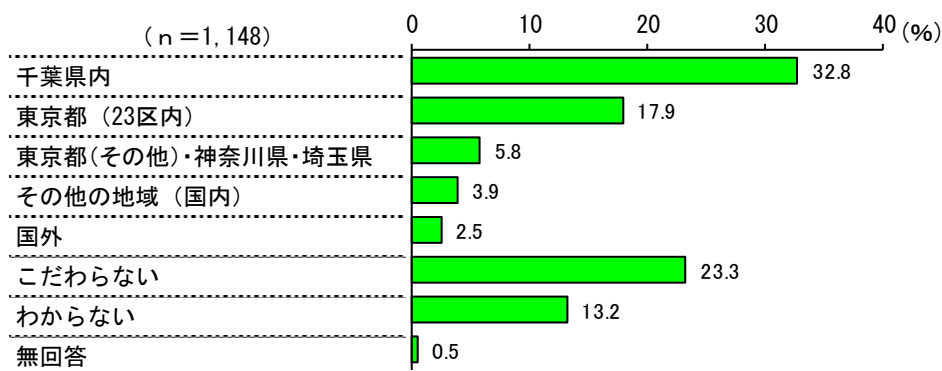
(2) 希望する勤務地

問 希望する勤務地はどこですか。

① 高校生

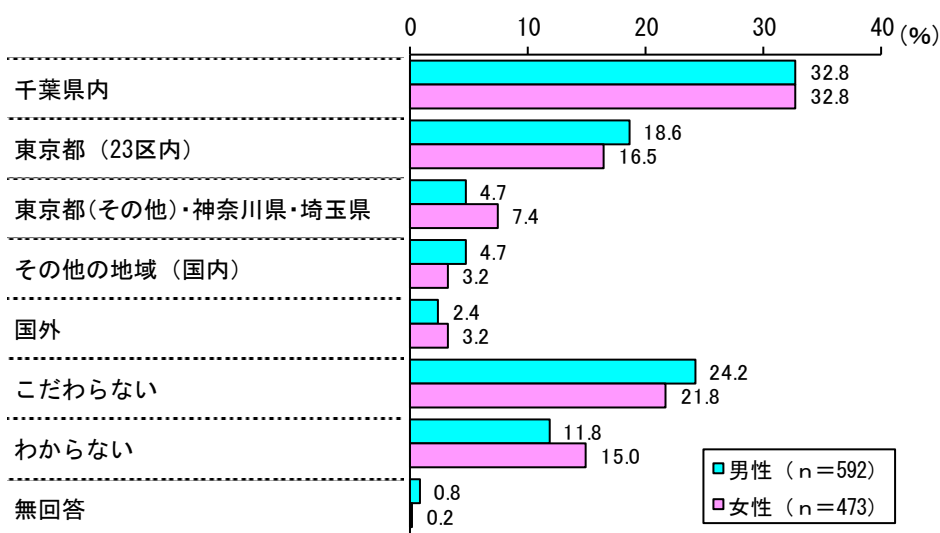
高校生の希望する勤務地は、「千葉県内」が 32.8%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が 17.9%となっている。また、「こだわらない」は 23.3%、「わからない」は 13.2%となっている。

<図表 希望する勤務地—高校生>



性別で見ると、「わからない」では女性（15.0%）が男性（11.8%）より 3.2 ポイント高くなっている。

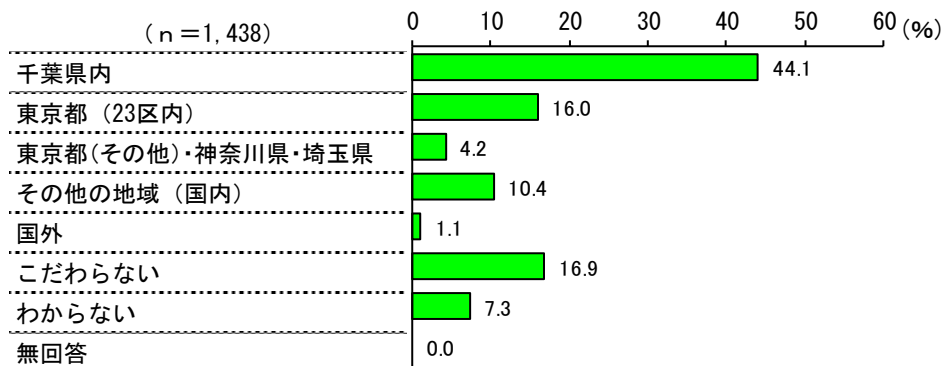
<図表 希望する勤務地—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

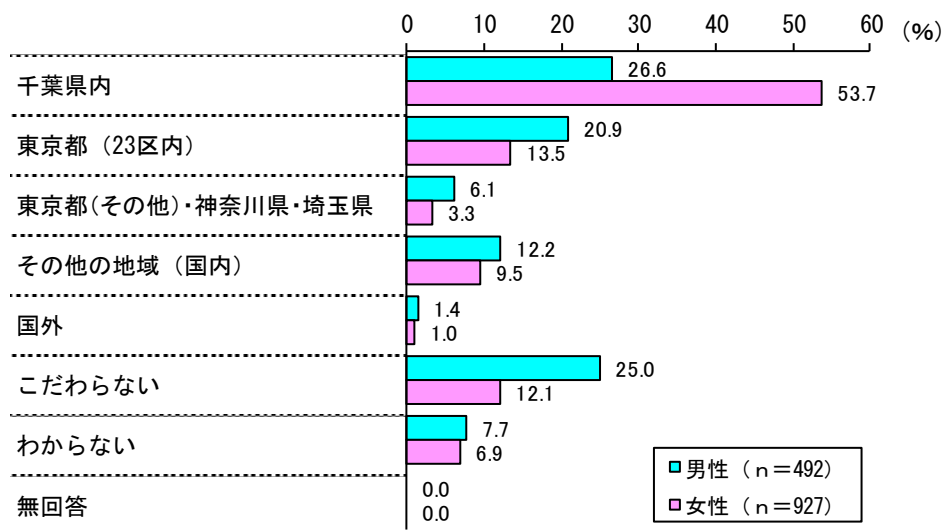
大学生・短期大学生の希望する勤務地は、「千葉県内」が44.1%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が16.0%となっている。また、「こだわらない」は16.9%、「わからない」は7.3%となっている。

<図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生>



性別で見ると、「千葉県内」では女性（53.7%）が男性（26.6%）より27.1ポイント高くなっている。一方、「東京都（23区内）」では男性（20.9%）が女性（13.5%）より7.4ポイント、「こだわらない」では男性（25.0%）が女性（12.1%）より12.9ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生（性別）>



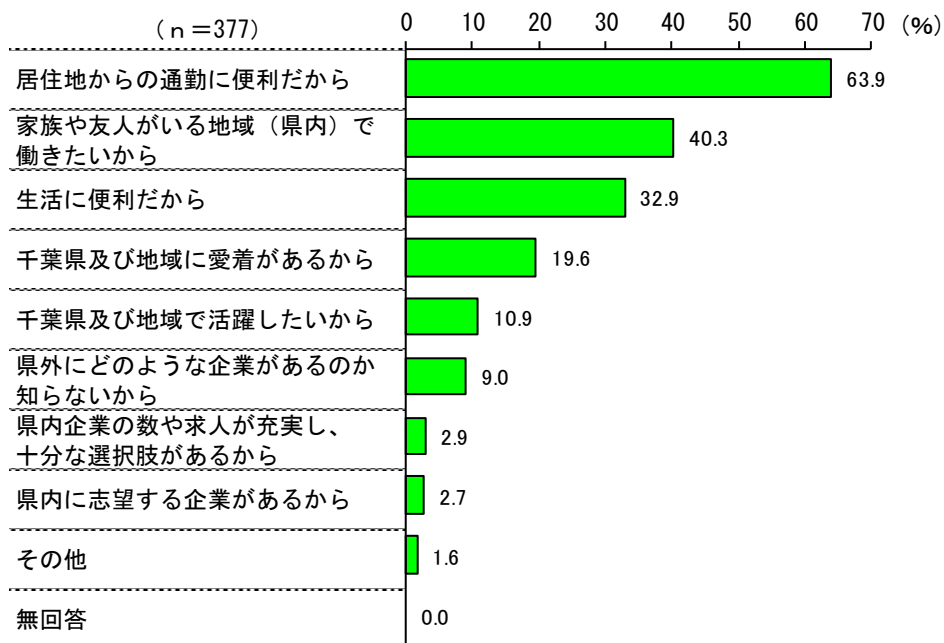
(3) 県内に勤務を希望する理由

問 希望する勤務地で、「千葉県内」を回答した方について、千葉県内に勤務を希望する理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

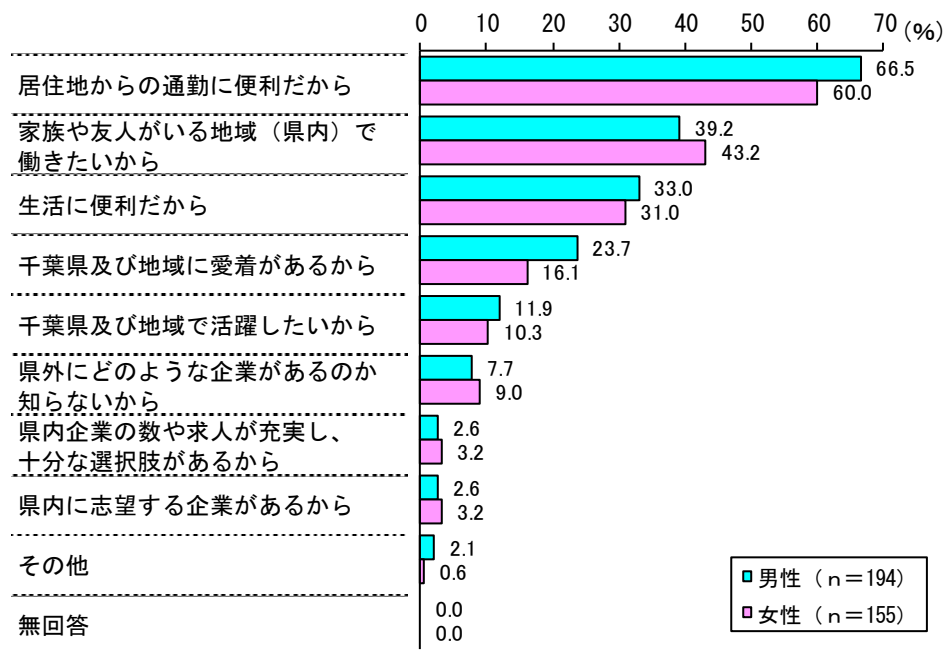
高校生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が63.9%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域(県内)で働きたいから」が40.3%、「生活に便利だから」が32.9%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が19.6%となっている。

<図表 県内に勤務を希望する理由－高校生>



性別でみると、「千葉県及び地域に愛着があるから」では男性（23.7%）が女性（16.1%）より7.6ポイント、「居住地からの通勤に便利だから」では男性（66.5%）が女性（60.0%）より6.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家族や友人がいる地域（県内）で働きたいから」では女性（43.2%）が男性（39.2%）より4.0ポイント高くなっている。

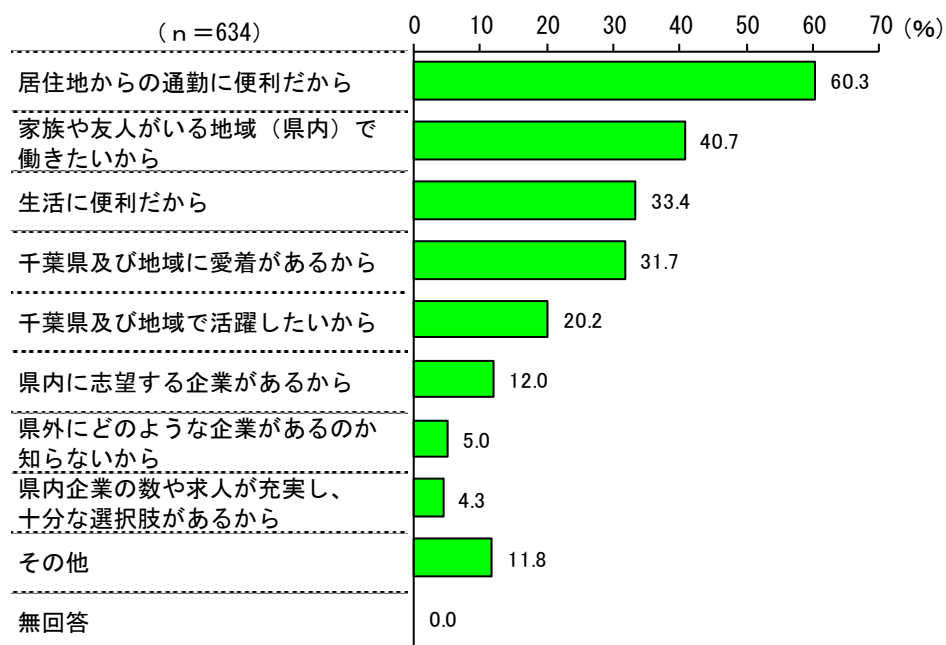
<図表 県内に勤務を希望する理由—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

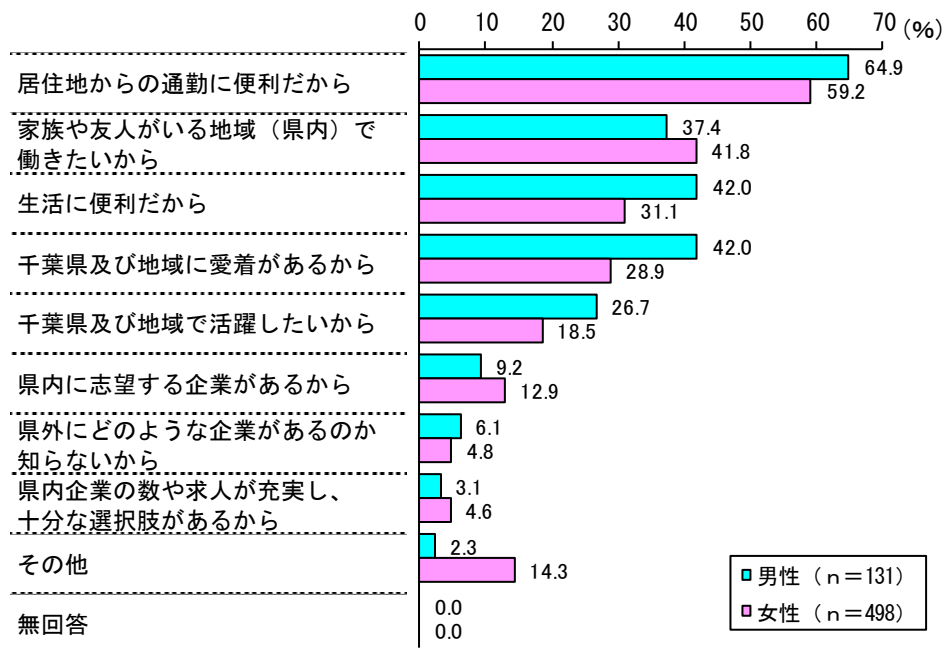
大学生・短期大学生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が60.3%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県内）で働きたいから」が40.7%、「生活に便利だから」が33.4%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が31.7%となっている。

＜図表 県内に勤務を希望する理由—大学生・短期大学生＞



性別でみると、「千葉県内及び地域に愛着があるから」では男性（42.0%）が女性（28.9%）より 13.1 ポイント、「生活に便利だから」では男性（42.0%）が女性（31.1%）より 10.9 ポイント、「千葉県内及び地域で活躍したいから」では男性（26.7%）が女性（18.5%）より 8.2 ポイント、「居住地からの通勤に便利だから」では男性（64.9%）が女性（59.2%）より 5.7 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家族や友人がいる地域（県内）で働きたいから」では女性（41.8%）が男性（37.4%）より 4.4 ポイント高くなっている。

<図表 県内に勤務を希望する理由—大学生・短期大学生（性別）>



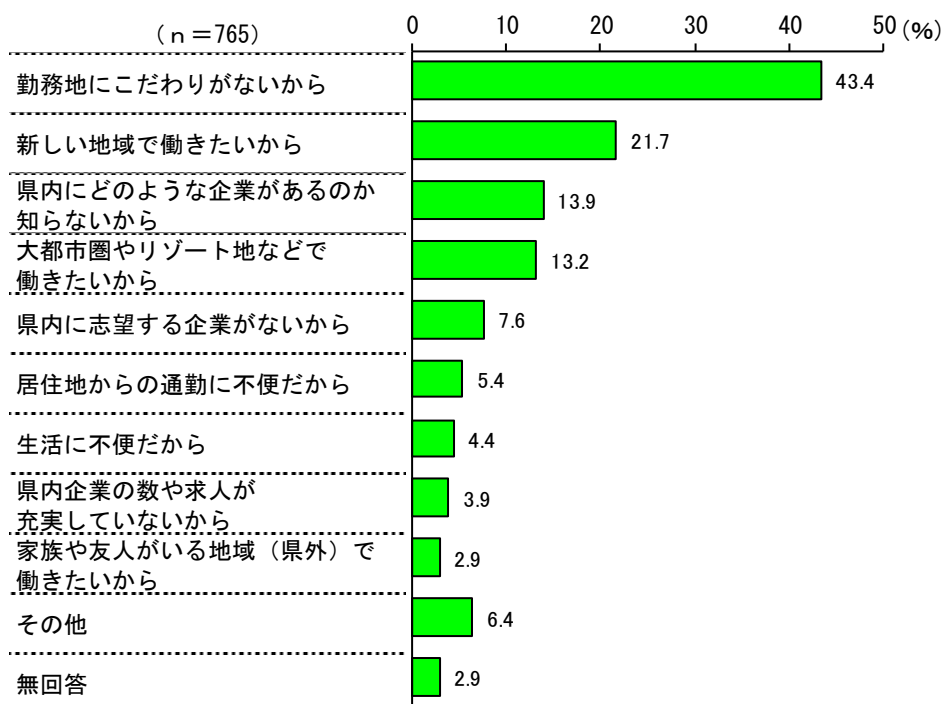
(4) 県内での勤務を希望しない理由

問 希望する勤務地で、「千葉県内」以外を回答した方について、千葉県内での勤務を希望しない理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

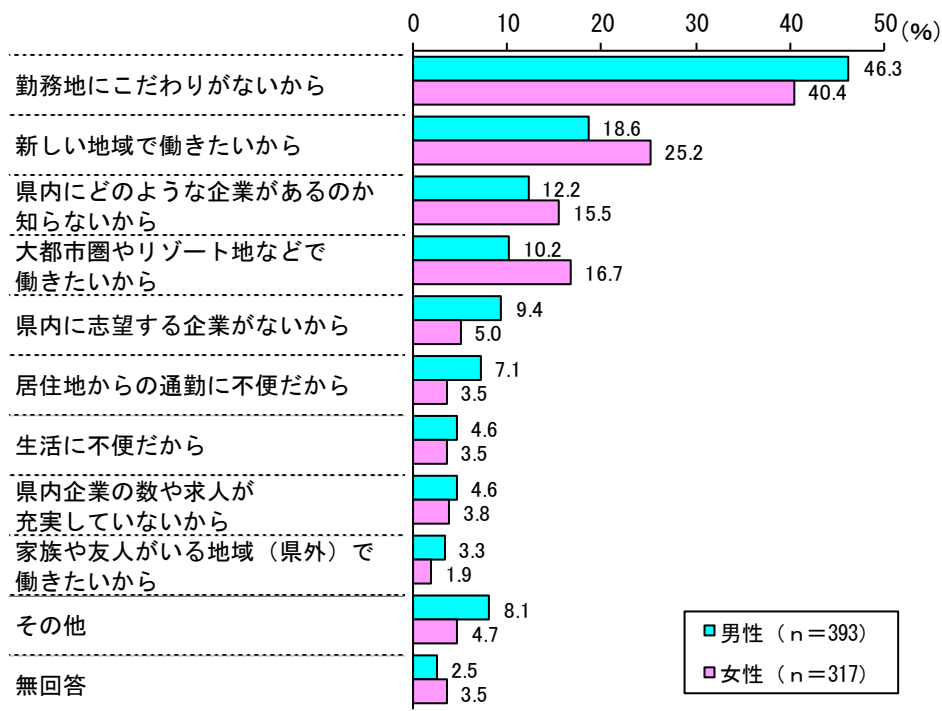
高校生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわらないから」が43.4%で最も高く、次いで「新しい地域で働きたいから」が21.7%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が13.9%、「大都市やリゾート地などで働きたいから」が13.2%となっている。

<図表 県内での勤務を希望しない理由－高校生>



性別で見ると、「勤務地にこだわりがないから」では男性（46.3%）が女性（40.4%）より 5.9 ポイント高くなっている。一方、「新しい地域で働きたいから」では女性（25.2%）が男性（18.6%）より 6.6 ポイント、「大都市やリゾート地などで働きたいから」では女性（16.7%）が男性（10.2%）より 6.5 ポイント、それぞれ高くなっている。

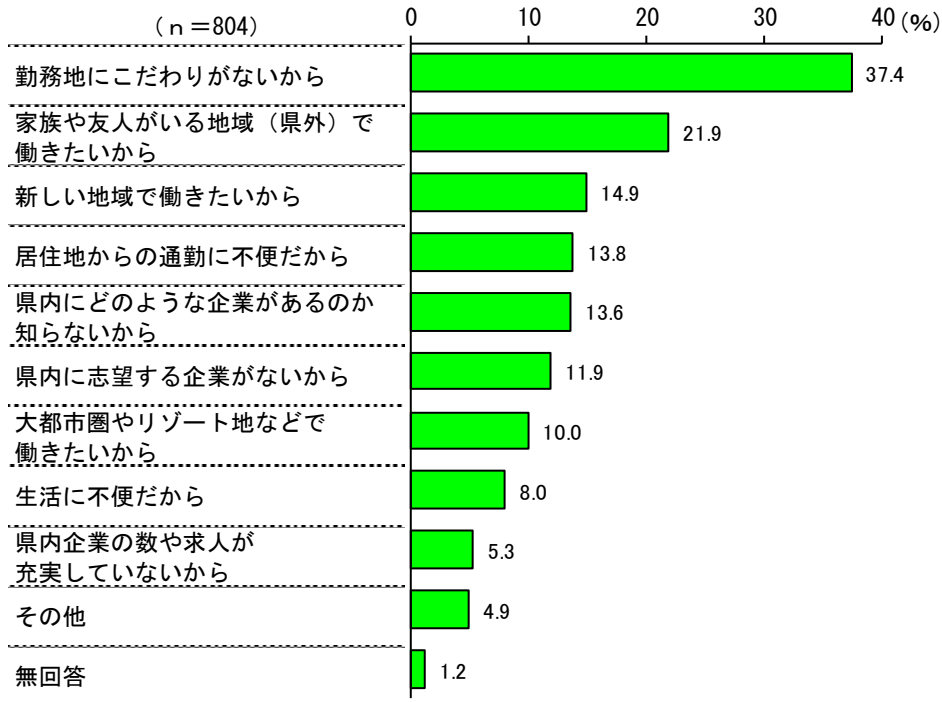
<図表 県内での勤務を希望しない理由—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

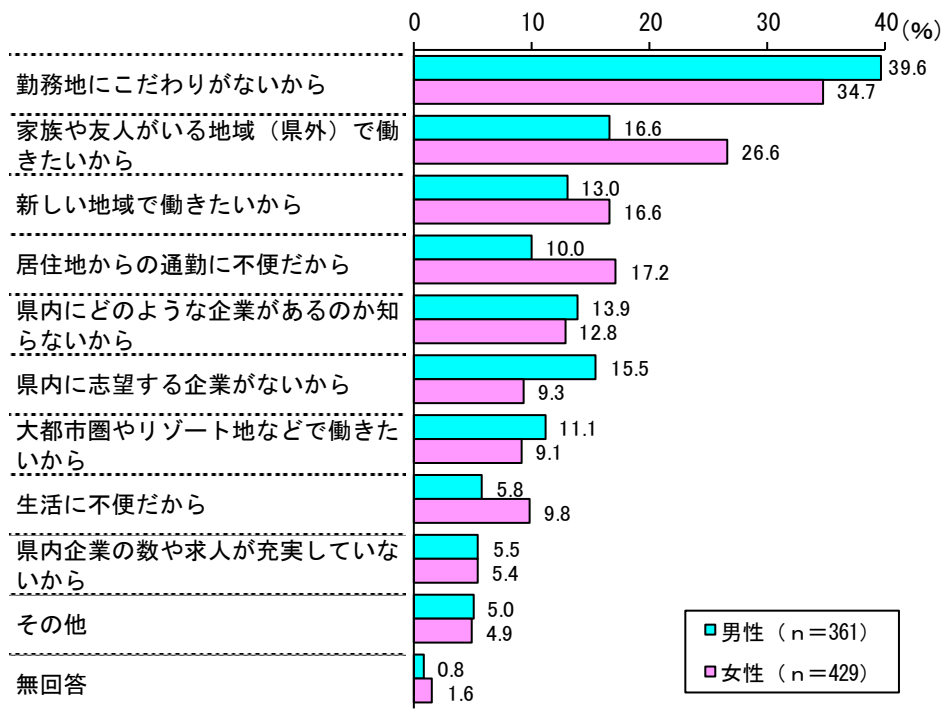
大学生・短期大学生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわりがないから」が37.4%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県外）で働きたいから」が21.9%、「新しい地域で働きたいから」が14.9%、「居住地からの通勤に不便だから」が13.8%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が13.6%となっている。

＜図表 県内での勤務を希望しない理由－大学生・短期大学生＞



性別でみると、「県内に志望する企業がないから」では男性（15.5%）が女性（9.3%）より6.2ポイント、「勤務地にこだわりがないから」では男性（39.6%）が女性（34.7%）より4.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家族や友人がいる地域（県外）で働きたいから」では女性（26.6%）が男性（16.6%）より10.0ポイント、「居住地からの通勤に不便だから」では女性（17.2%）が男性（10.0%）より7.2ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 県内での勤務を希望しない理由—大学生・短期大学生（性別）>



3. 将来の居住地の希望について

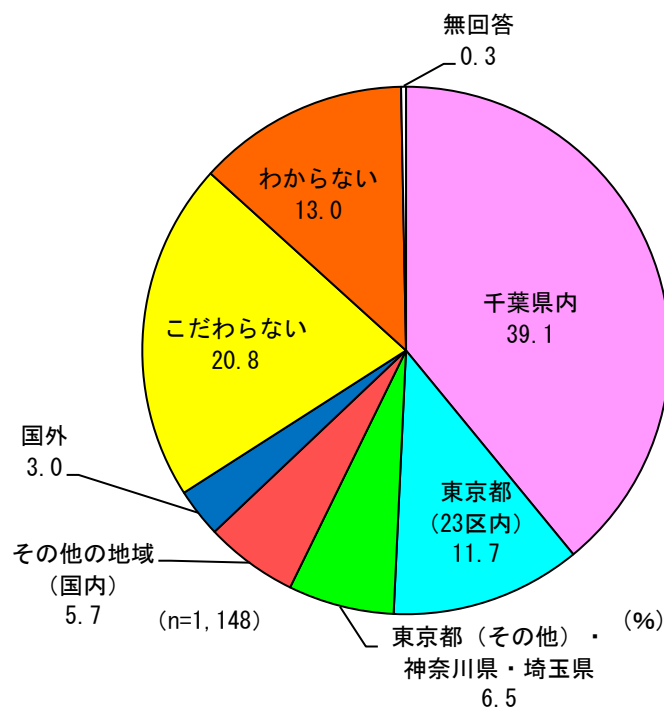
(1) 就職後の居住地の希望

問 あなたは、就職後、どこに住みたいですか。

① 高校生

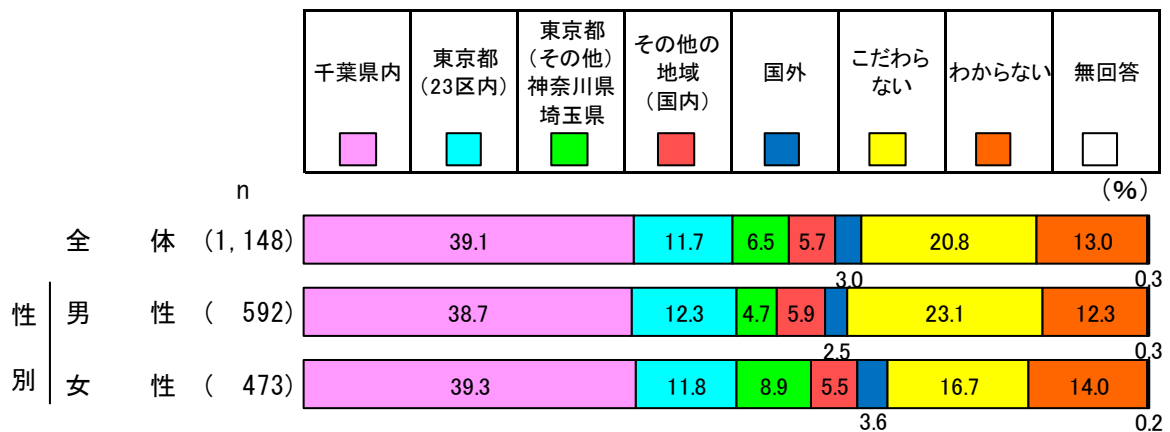
高校生の就職後の居住地の希望は、「千葉県内」が39.1%で最も高くなっている。次いで「東京都(23区内)」が11.7%となっている。また、「こだわらない」は20.8%、「わからない」は13.0%となっている。

<図表 就職後の居住地の希望－高校生>



性別でみると、「東京都(その他)・神奈川県・埼玉県」では女性(8.9%)が男性(4.7%)より4.2ポイント高くなっている。一方、「こだわらない」では男性(23.1%)が女性(16.7%)より6.4ポイント高くなっている。

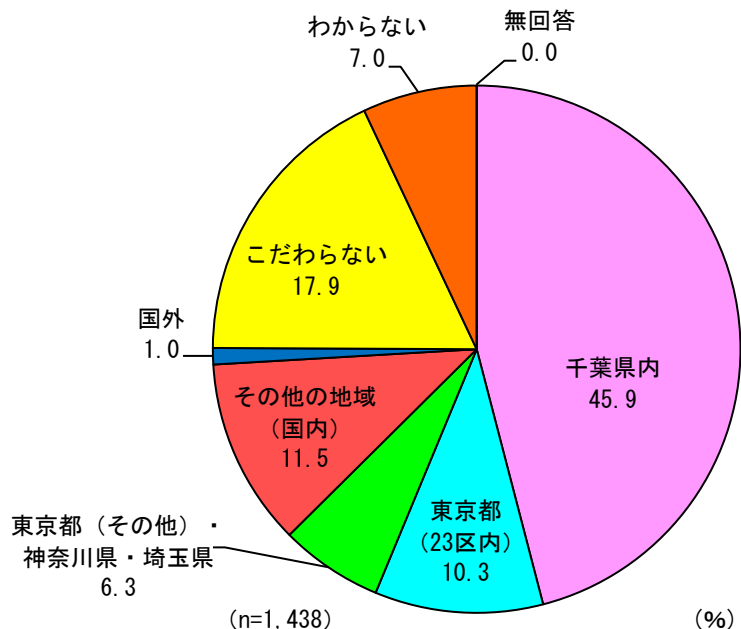
<図表 就職後の居住地の希望－高校生(性別)>



② 大学生・短期大学生

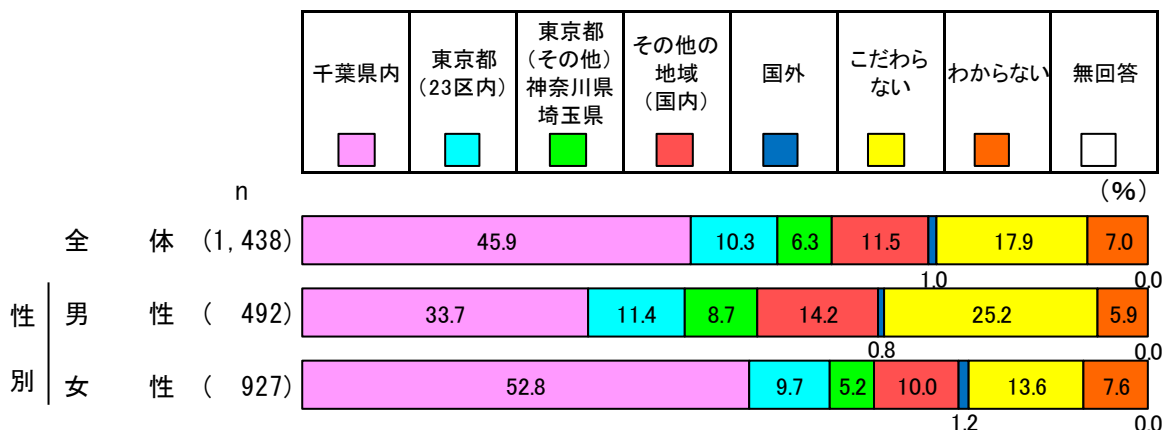
大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望は、「千葉県内」が45.9%で最も高くなっている。次いで「その他の地域（国内）」が11.5%、「東京都（23区内）」が10.3%となっている。また、「こだわらない」は17.9%、「わからない」は7.0%となっている。

<図表 就職後の居住地の希望—大学生・短期大学生>



性別で見ると、「千葉県内」では女性（52.8%）が男性（33.7%）より19.1ポイント高くなっている。一方、「こだわらない」では男性（25.2%）が女性（13.6%）より11.6ポイント高くなっている。

<図表 就職後の居住地の希望—大学生・短期大学生（性別）>

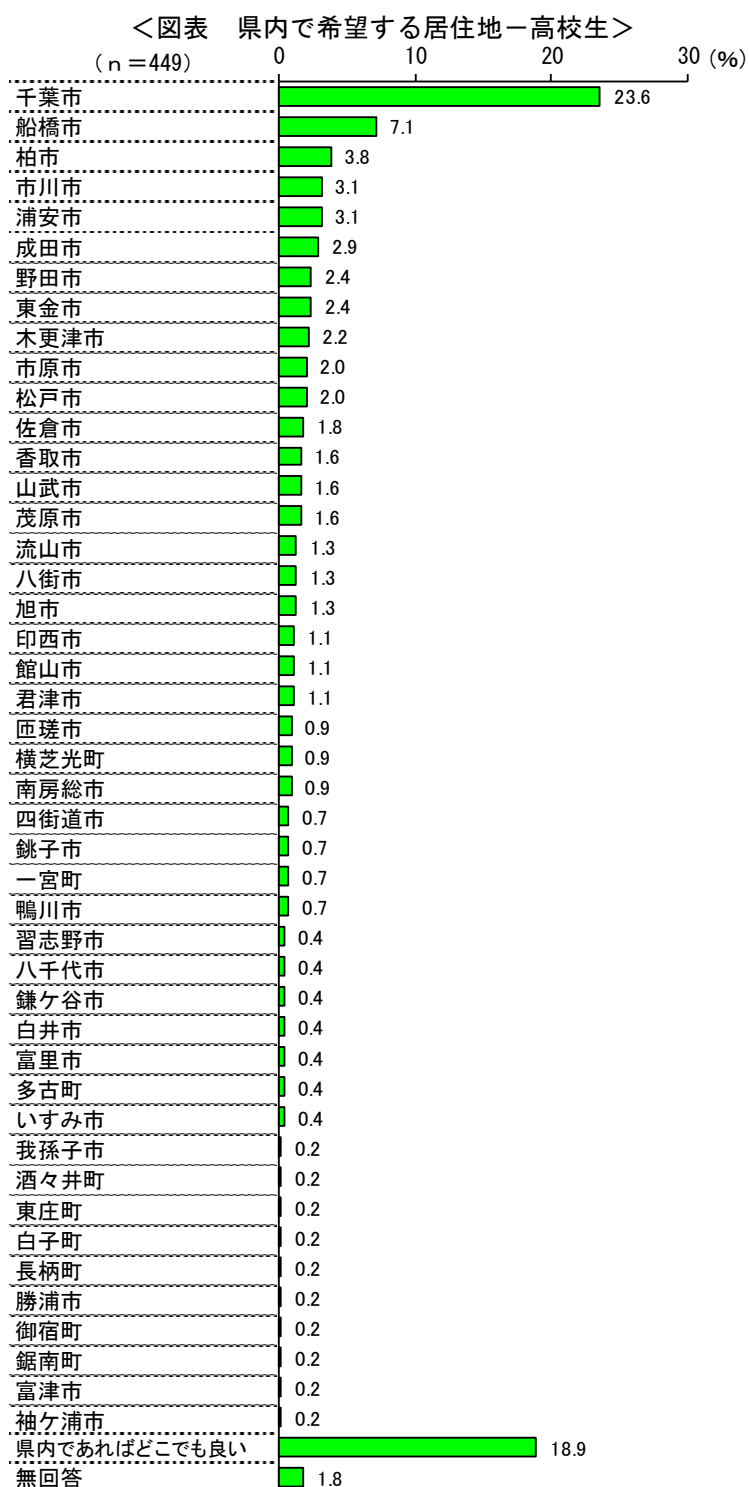


(2) 県内で希望する居住地

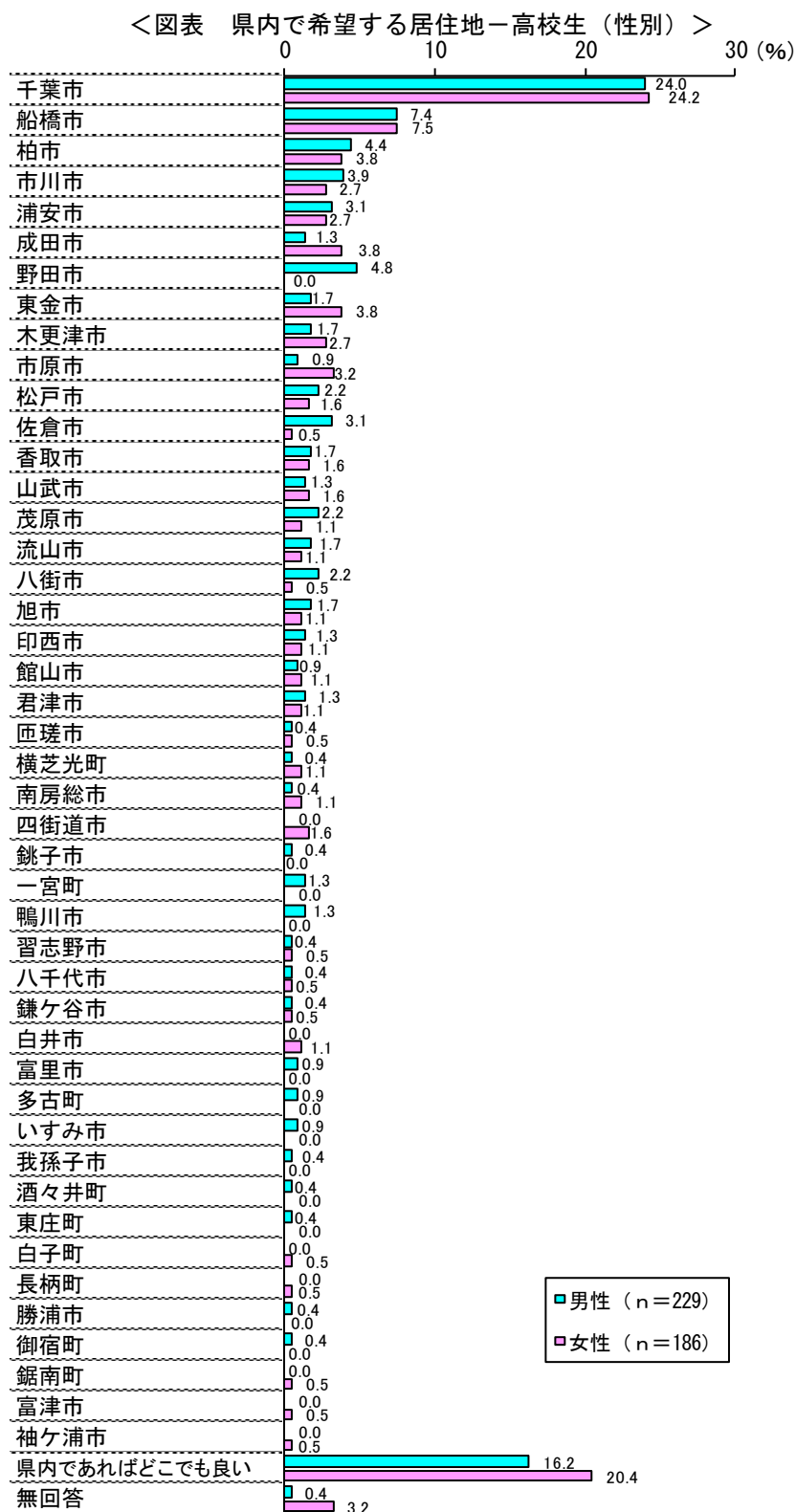
問 就職後の居住地の希望で、「千葉県に住みたい」と回答した方について、千葉県内で希望する市町村はどこですか。

① 高校生

高校生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が23.6%で最も高く、次いで「船橋市」が7.1%、「柏市」が3.8%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は18.9%となっている。



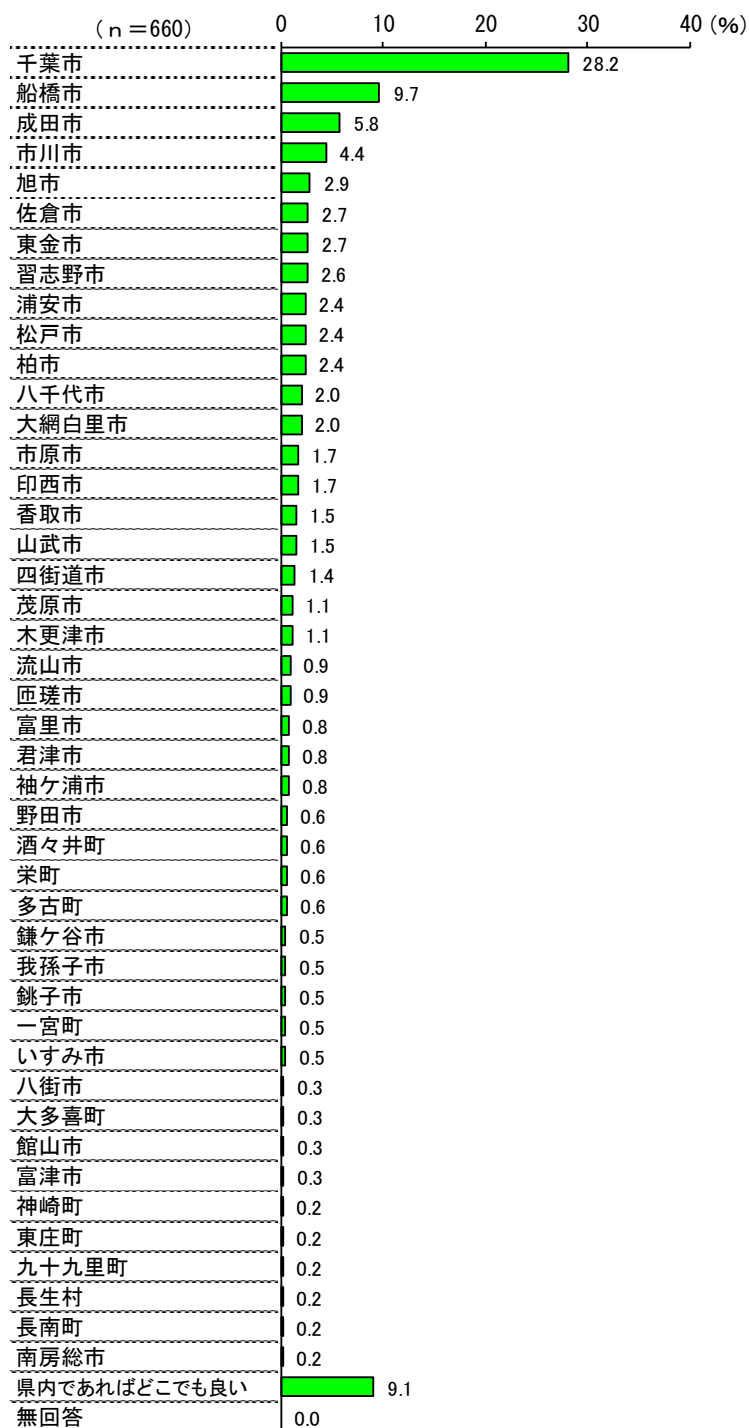
性別でみると、「野田市」では男性（4.8%）が女性（0.0%）より4.8ポイント高くなっている。一方、「県内であればどこでも良い」では女性（20.4%）が男性（16.2%）より4.2ポイント高くなっている。



② 大学生・短期大学生

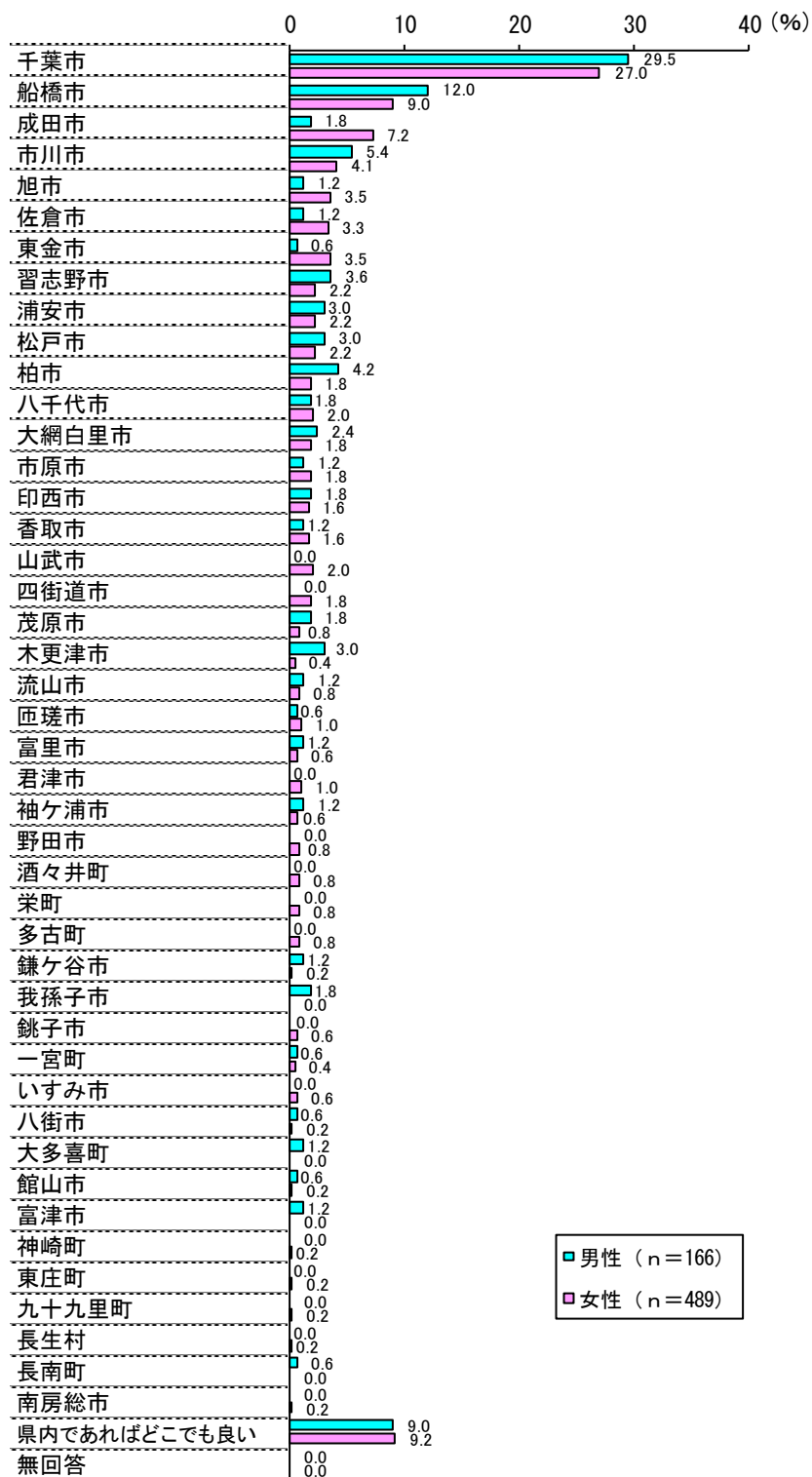
大学生・短期大学生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が28.2%で最も高く、次いで「船橋市」が9.7%、「成田市」が5.8%、「市川市」が4.4%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は9.1%となっている。

<図表 県内で希望する居住地—大学生・短期大学生>



性別でみると、「成田市」では女性（7.2%）が男性（1.8%）より5.4ポイント、「船橋市」では男性（12.0%）が女性（9.0%）より3.0ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 県内で希望する居住地—大学生・短期大学生（性別）>



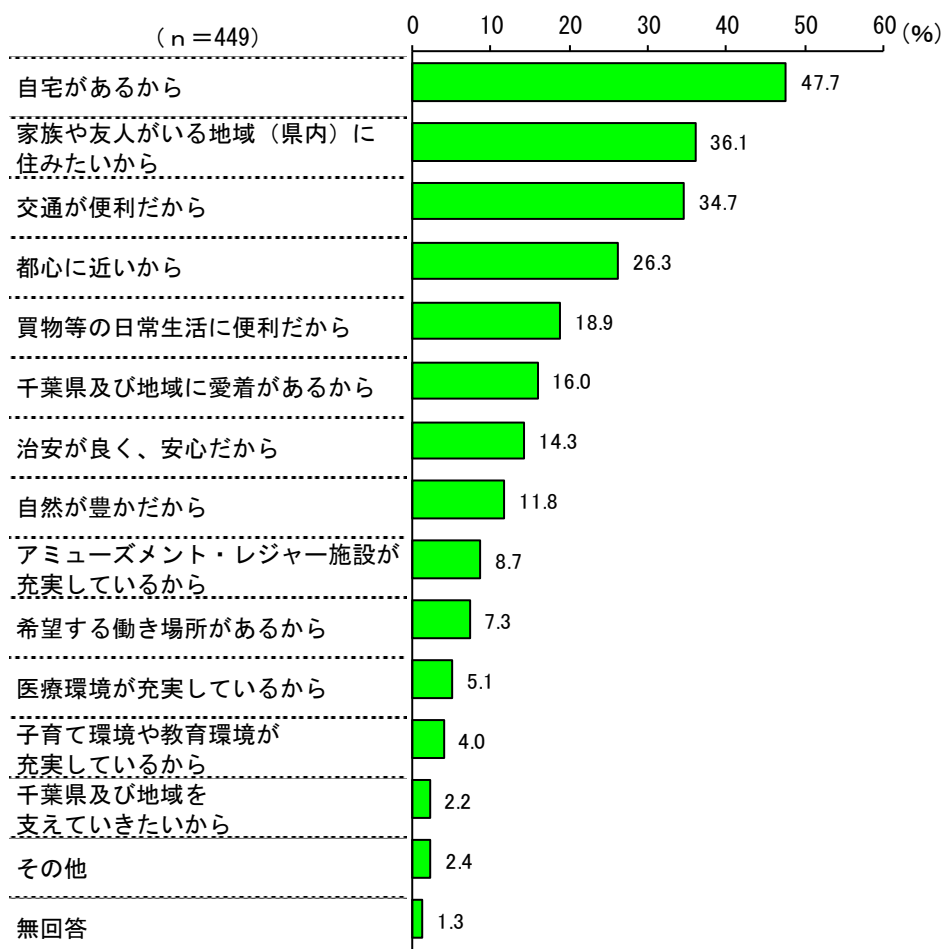
(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由

問 県内で希望する居住地について、その地域を選ぶ理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

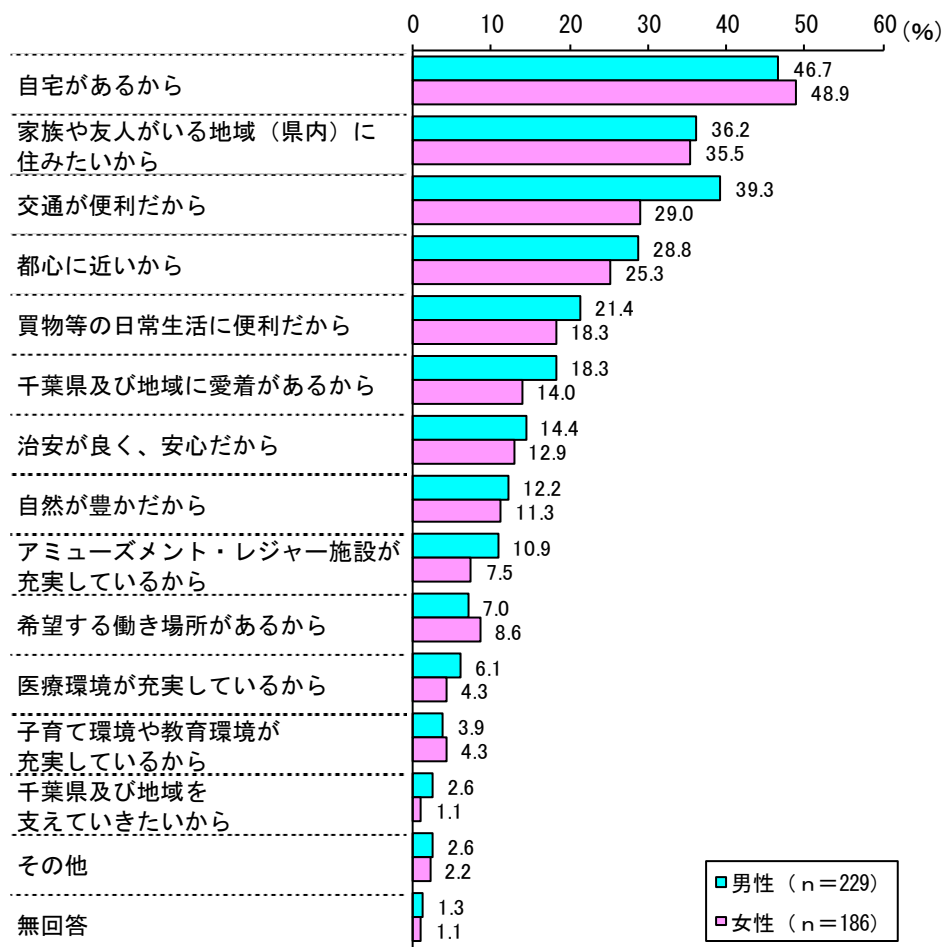
高校生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が47.7%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域(県内)に住みたいから」が36.1%、「交通が便利だから」が34.7%、「都心に近いから」が26.3%となっている。

<図表 県内の地域を居住地に選ぶ理由－高校生>



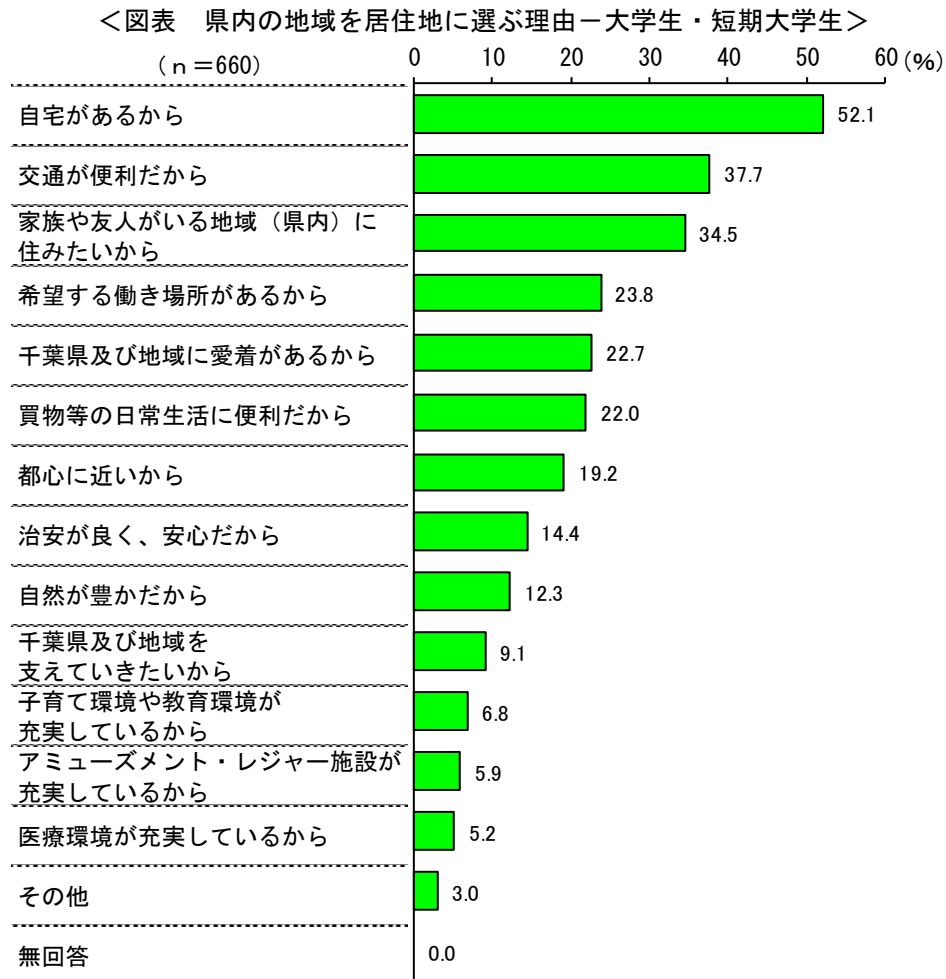
性別で見ると、「交通が便利だから」では男性（39.3%）が女性（29.0%）より10.3ポイント高くなっている。

<図表 県内の地域を居住地に選ぶ理由—高校生（性別）>



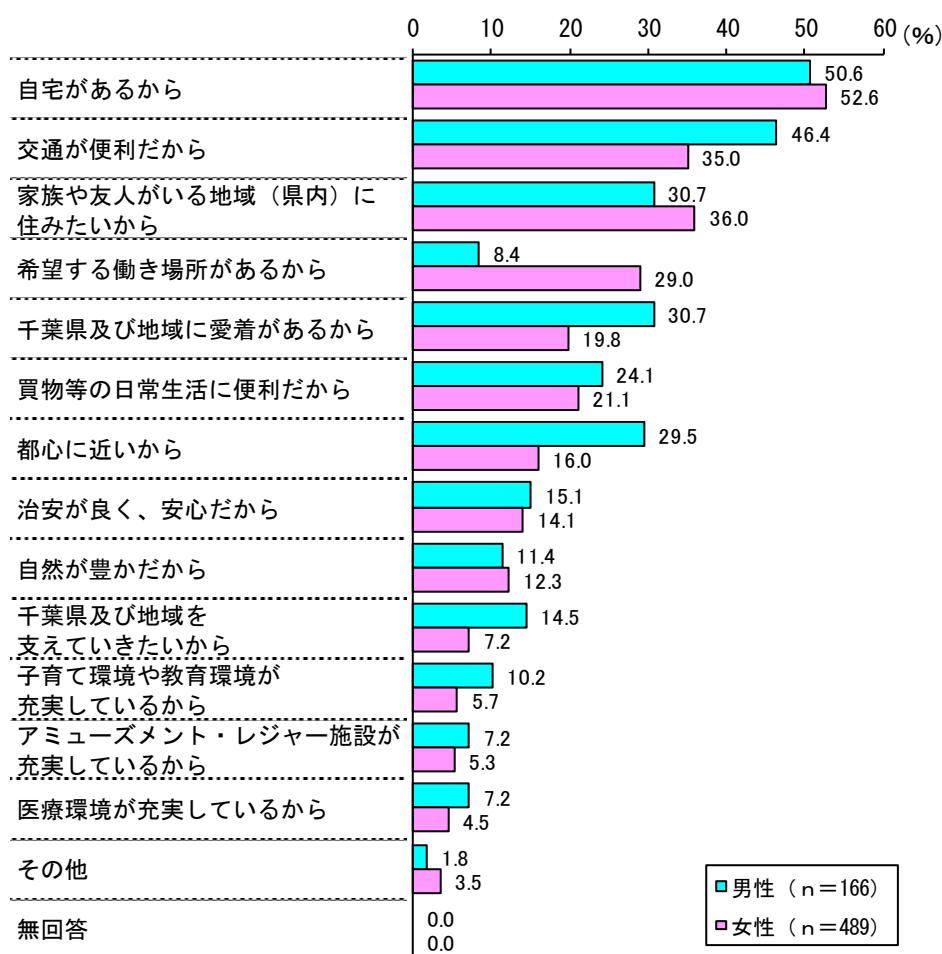
② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が52.1%で最も高く、次いで「交通が便利だから」が37.7%、「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」が34.5%、「希望する働き場所があるから」が23.8%となっている。



性別でみると、「都心に近いから」では男性（29.5%）が女性（16.0%）より13.5ポイント、「交通が便利だから」では男性（46.4%）が女性（35.0%）より11.4ポイント、「千葉県及び地域に愛着があるから」では男性（30.7%）が女性（19.8%）より10.9ポイント、「千葉県及び地域を支えていきたいから」では男性（14.5%）が女性（7.2%）より7.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「希望する働き場所があるから」では女性（29.0%）が男性（8.4%）より20.6ポイント、「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」では女性（36.0%）が男性（30.7%）より5.3ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 県内の地域を居住地に選ぶ理由—大学生・短期大学生（性別）>



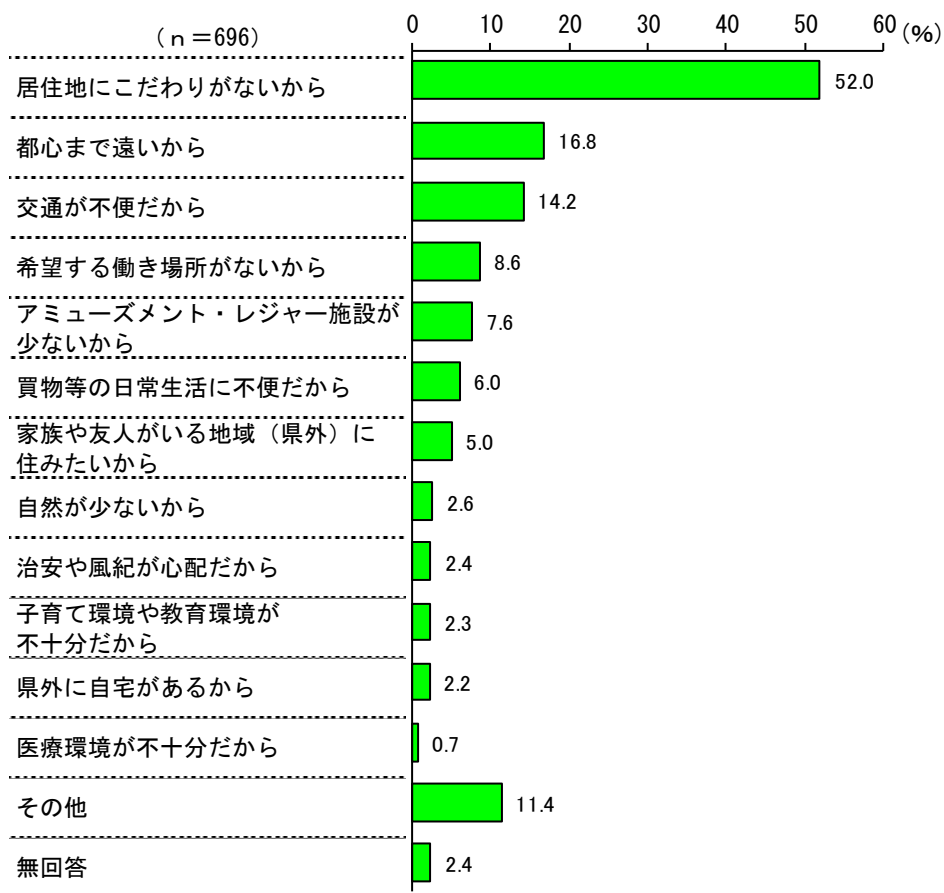
(4) 県内を居住地に選ばない理由

問 就職後の居住地の希望で、「千葉県内」以外と回答した方について、就職後の居住地に千葉県を選ばない理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

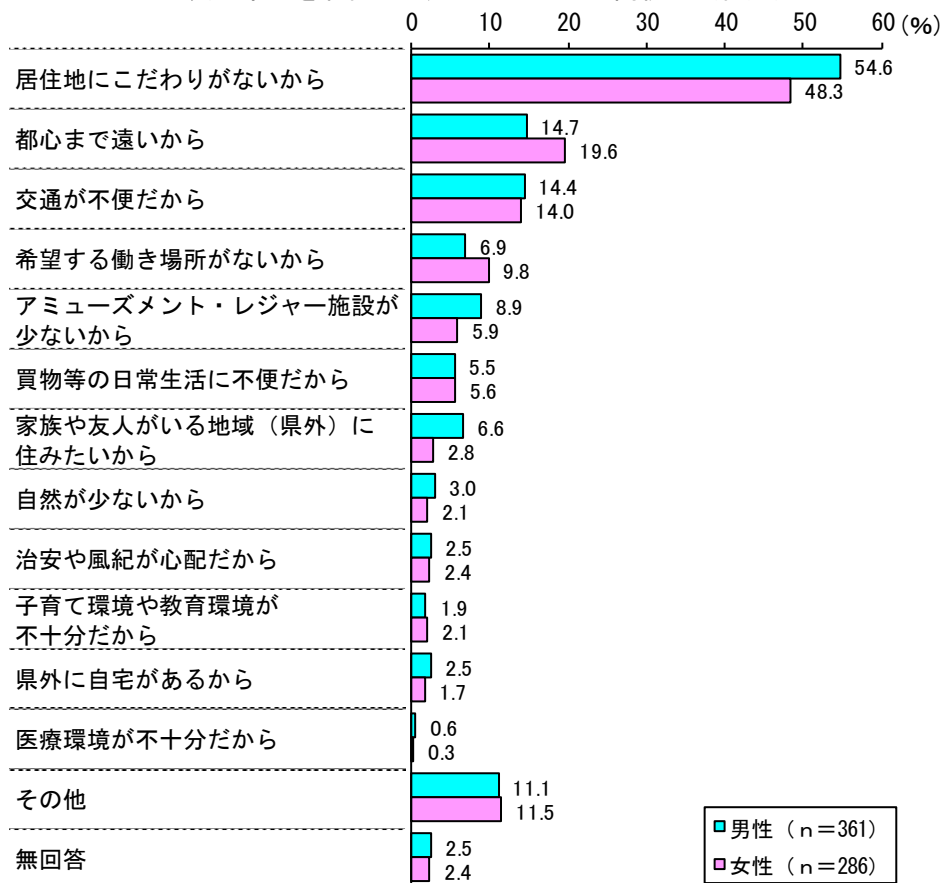
高校生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわらないから」が52.0%で最も高く、次いで「都心まで遠いから」が16.8%、「交通が不便だから」が14.2%となっている。

<図表 県内を居住地に選ばない理由－高校生>



性別で見ると、「居住地にこだわりがないから」では男性（54.6%）が女性（48.3%）より 6.3 ポイント高くなっている。一方、「都心まで遠いから」では女性（19.6%）が男性（14.7%）より 4.9 ポイント高くなっている。

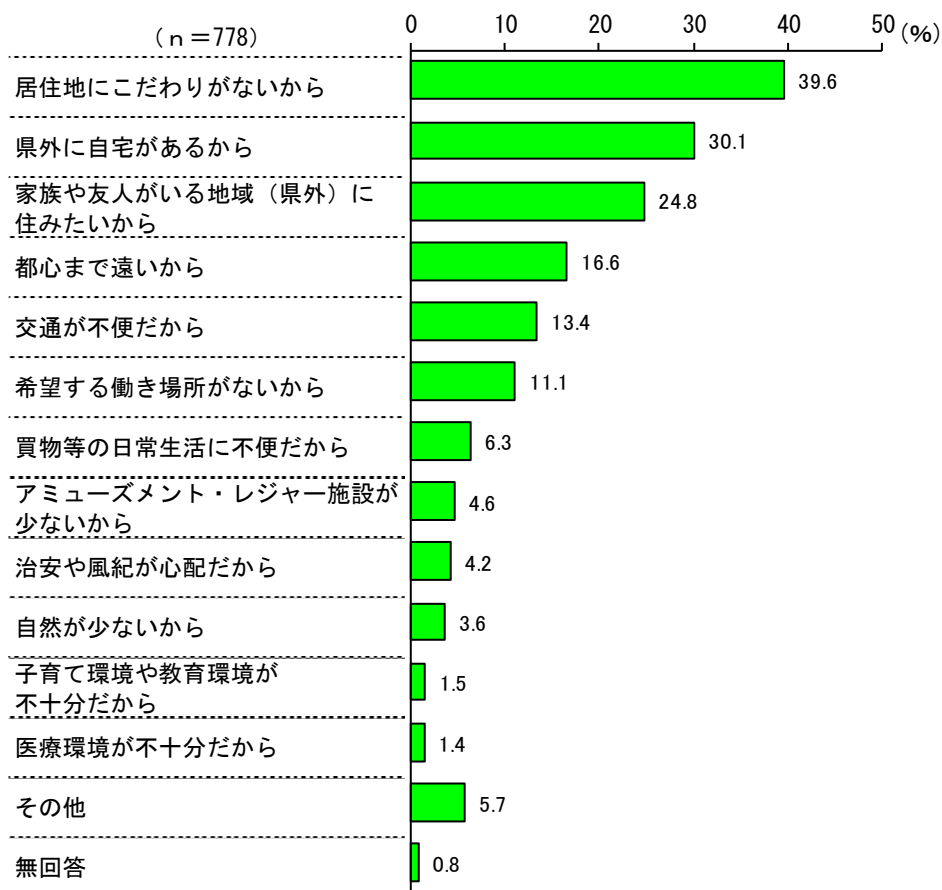
＜図表 県内を居住地に選ばない理由—高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

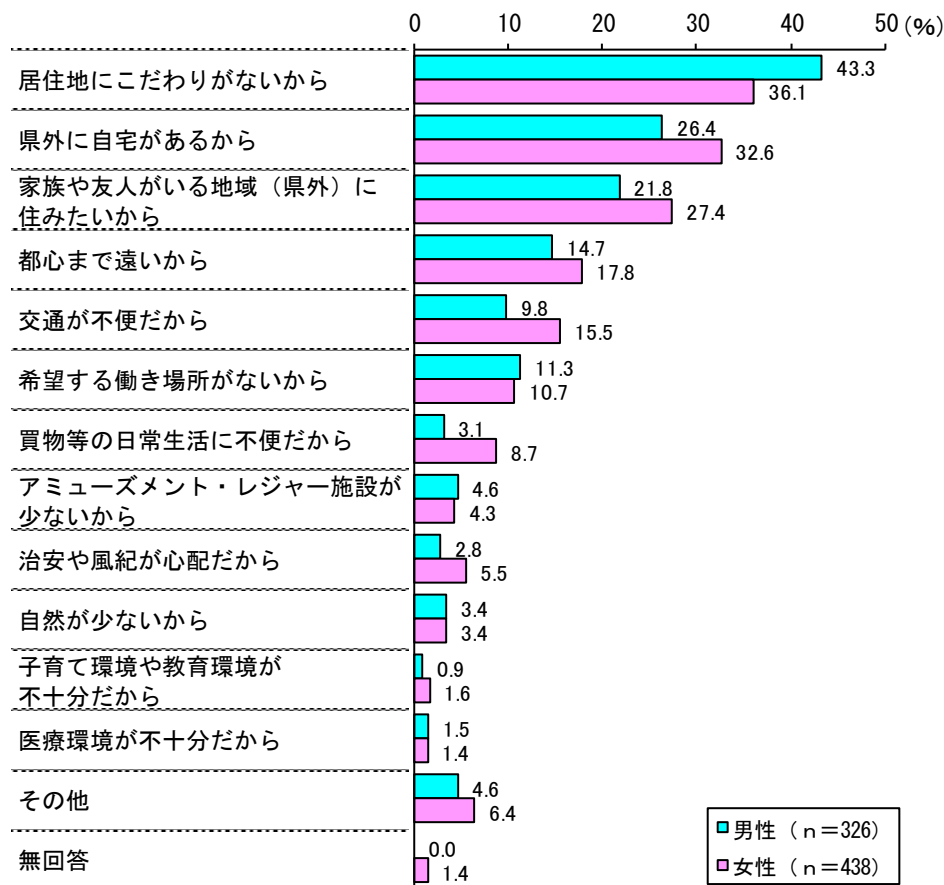
大学生・短期大学生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわりがないから」が39.6%で最も高く、次いで「県外に自宅があるから」が30.1%、「家族や友人がいる地域（県外）に住みたいから」が24.8%、「都心まで遠いから」が16.6%となっている。

<図表 県内を居住地に選ばない理由—大学生・短期大学生>



性別でみると、「県外に自宅があるから」では女性（32.6%）が男性（26.4%）より 6.2 ポイント、「交通が不便だから」では女性（15.5%）が男性（9.8%）より 5.7 ポイント、「家族や友人がいる地域（県外）に住みたいから」では女性（27.4%）が男性（21.8%）より 5.6 ポイント、「買物等の日常生活に不便だから」では女性（8.7%）が男性（3.1%）より 5.6 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「居住地にこだわりがないから」では男性（43.3%）が女性（36.1%）より 7.2 ポイント高くなっている。

<図表 県内を居住地に選ばない理由—大学生・短期大学生（性別）>



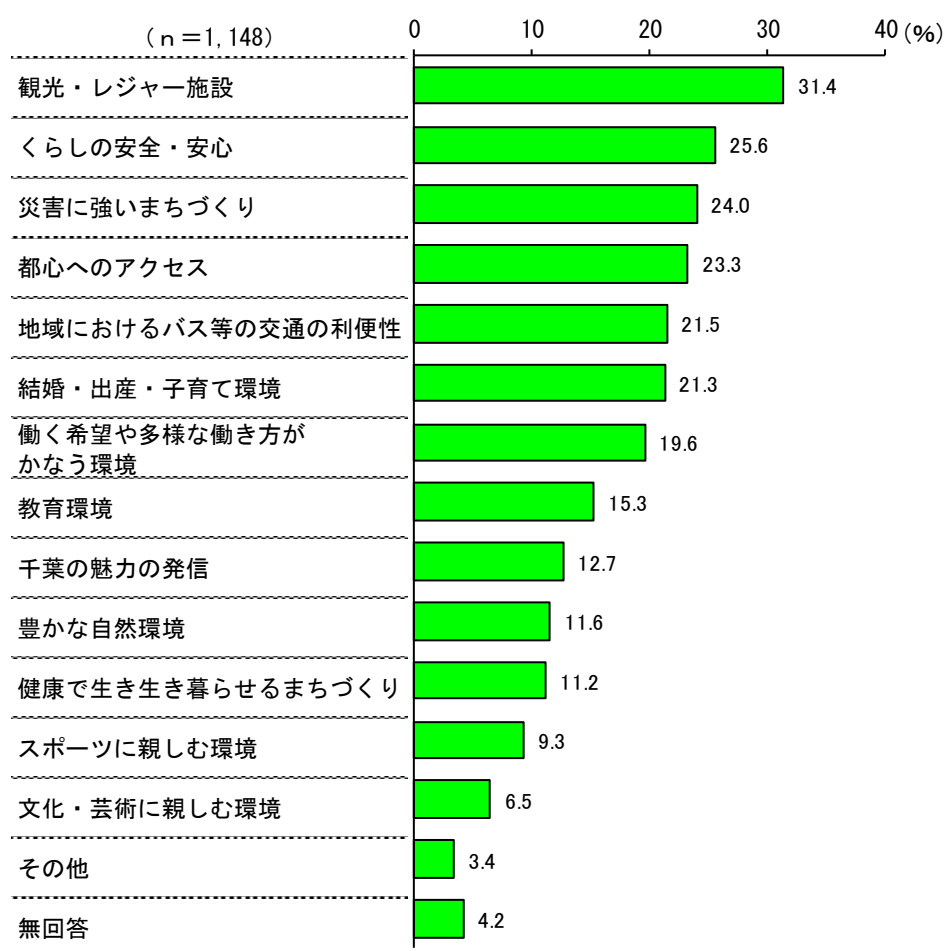
(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

問 千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要と思う点は、何だと思えますか。
(3つまで)

① 高校生

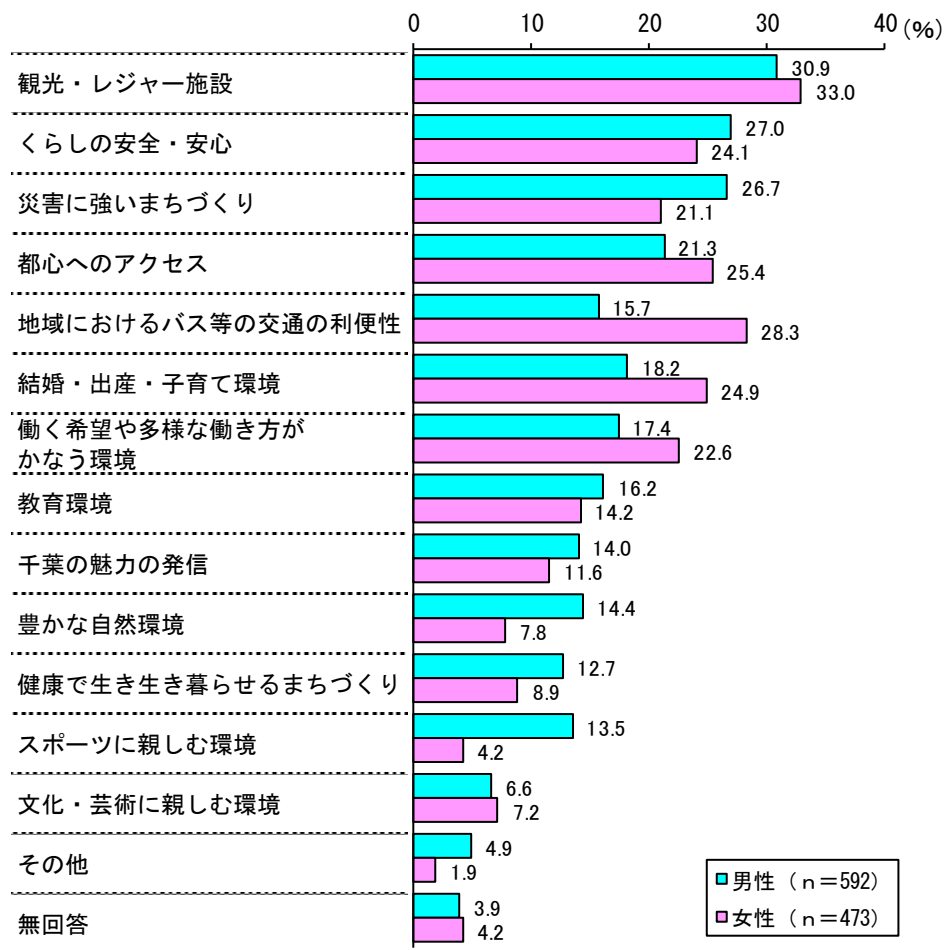
高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「観光・レジャー施設」が31.4%で最も高く、次いで「くらしの安全・安心」が25.6%、「災害に強いまちづくり」が24.0%、「都心へのアクセス」が23.3%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が21.5%、「結婚・出産・子育て環境」が21.3%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと－高校生>



性別でみると、「地域におけるバス等の交通の利便性」では女性（28.3%）が男性（15.7%）より12.6ポイント、「結婚・出産・子育て環境」では女性（24.9%）が男性（18.2%）より6.7ポイント、「働く希望や多様な働き方がかなう環境」では女性（22.6%）が男性（17.4%）より5.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツに親しむ環境」では男性（13.5%）が女性（4.2%）より9.3ポイント、「豊かな自然環境」では男性（14.4%）が女性（7.8%）より6.6ポイント、「災害に強いまちづくり」では男性（26.7%）が女性（21.1%）より5.6ポイント、それぞれ高くなっている。

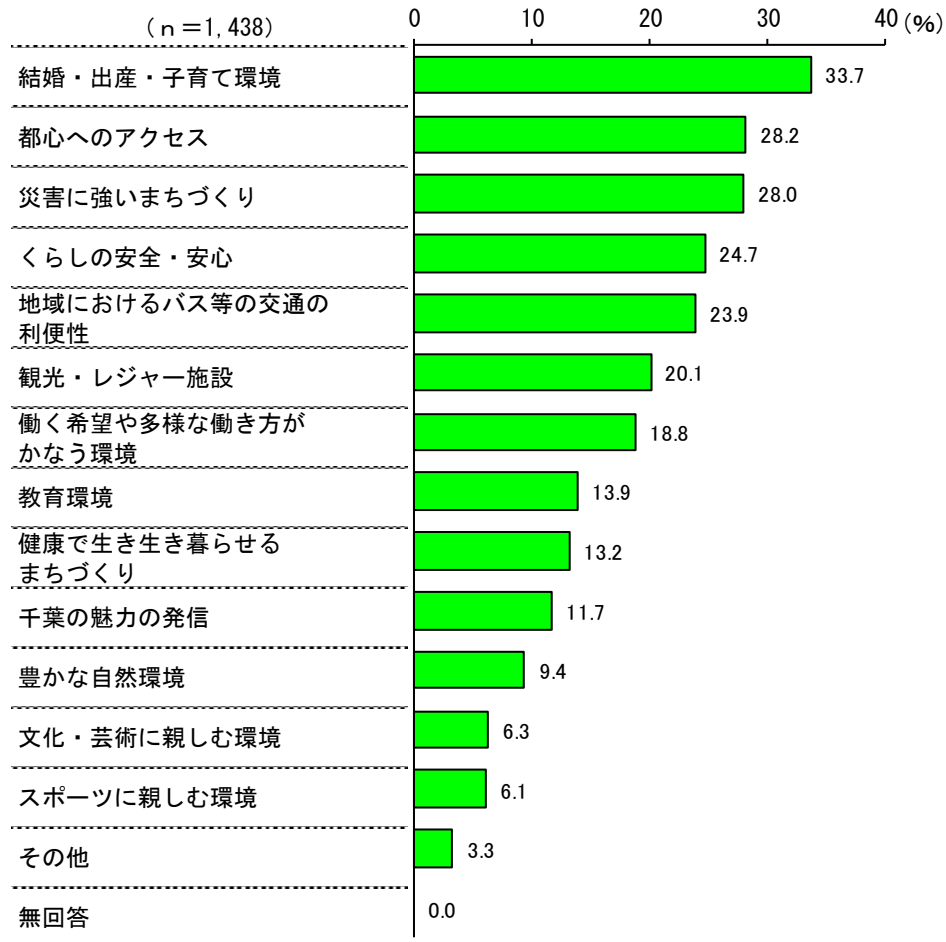
<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと－高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

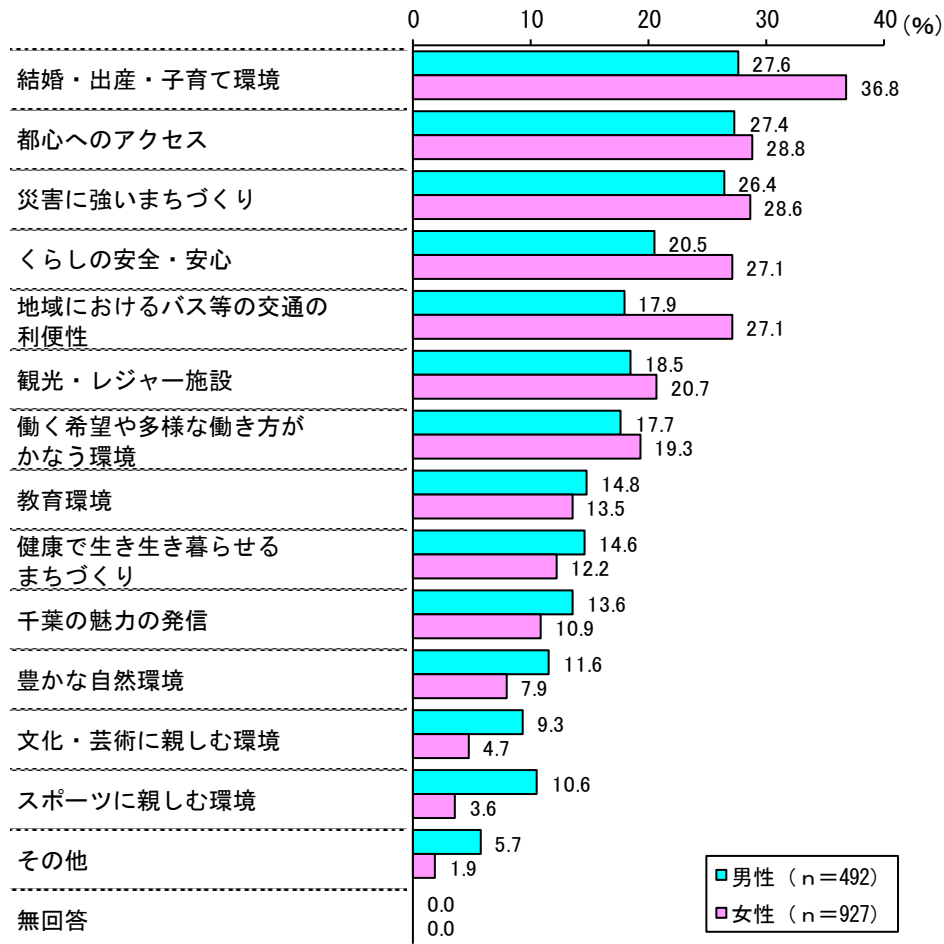
大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「結婚・出産・子育て環境」が33.7%で最も高く、次いで「都心へのアクセス」が28.2%、「災害に強いまちづくり」が28.0%、「くらしの安全・安心」が24.7%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が23.9%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと—大学生・短期大学生>



性別でみると、「結婚・出産・子育て環境」では女性（36.8%）が男性（27.6%）より9.2ポイント、「地域におけるバス等の交通の利便性」では女性（27.1%）が男性（17.9%）より9.2ポイント、「くらしの安心・安全」では女性（27.1%）が男性（20.5%）より6.6ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツに親しむ環境」では男性（10.6%）が女性（3.6%）より7.0ポイント高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと—大学生・短期大学生（性別）>



4. 地域の魅力について

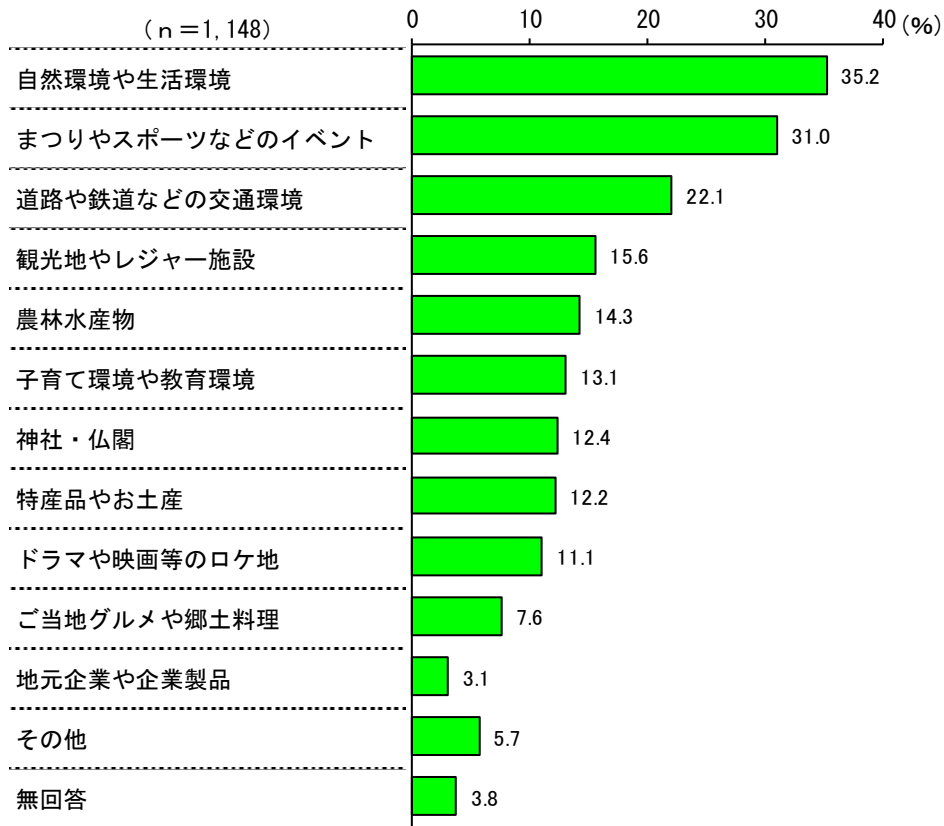
(1) 住んでいる地域の魅力

問 現在住んでいる地域は、どのような魅力があると感じていますか。(複数可)

① 高校生

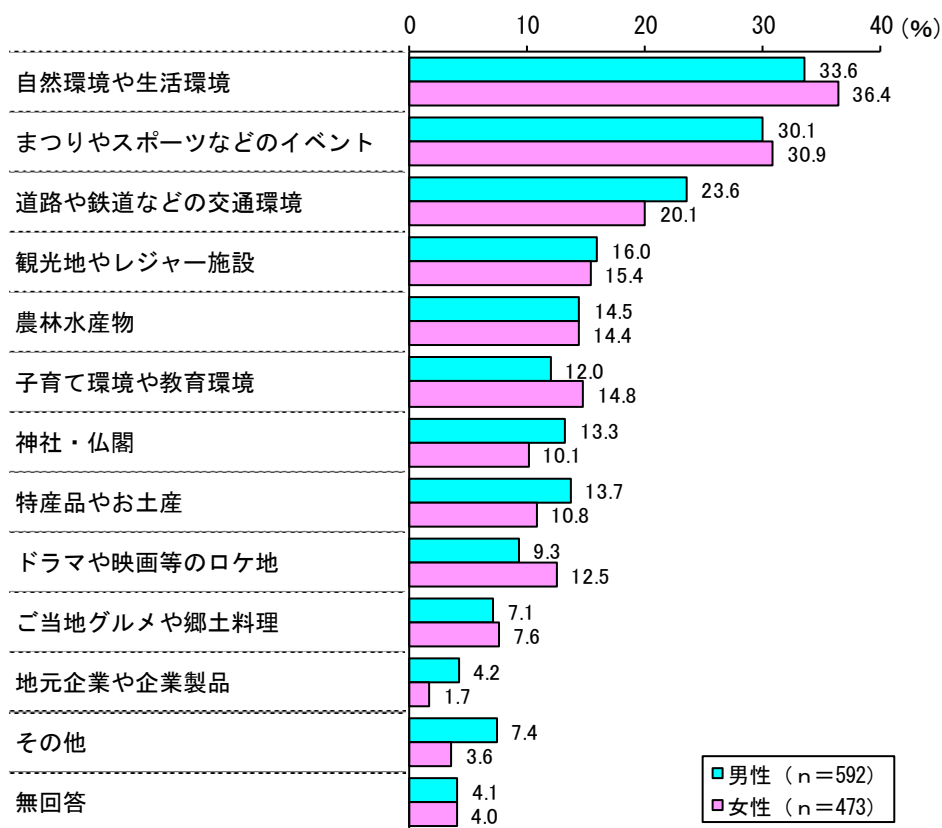
高校生の現在住んでいる地域の魅力については、「自然環境や生活環境」が35.2%で最も高く、次いで「まつりやスポーツなどのイベント」が31.0%、「道路や鉄道などの交通環境」が22.1%、「観光地やレジャー施設」が15.6%となっている。

<図表 住んでいる地域の魅力－高校生>



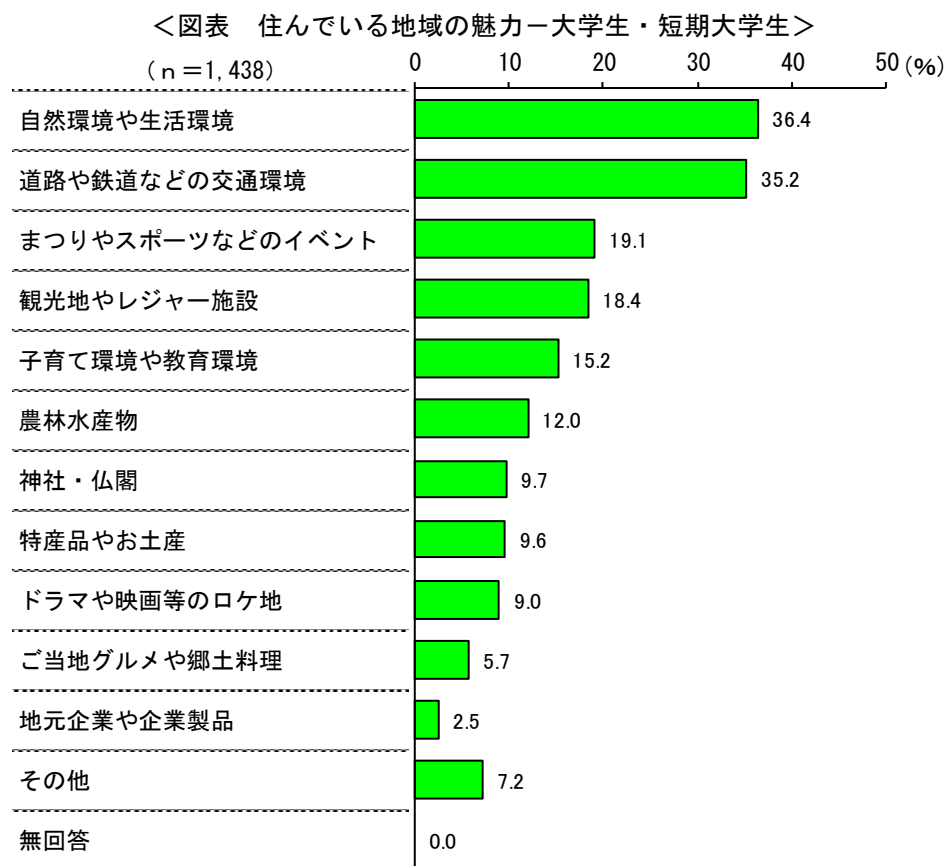
性別でみると、「道路や鉄道などの交通環境」では男性（23.6%）が女性（20.1%）より 3.5 ポイント、「神社・仏閣」では男性（13.3%）が女性（10.1%）より 3.2 ポイント、それぞれ高くなっている。一方で「ドラマや映画等のロケ地」では女性（12.5%）が男性（9.3%）より 3.2 ポイント高くなっている。

<図表 住んでいる地域の魅力ー高校生（性別）>



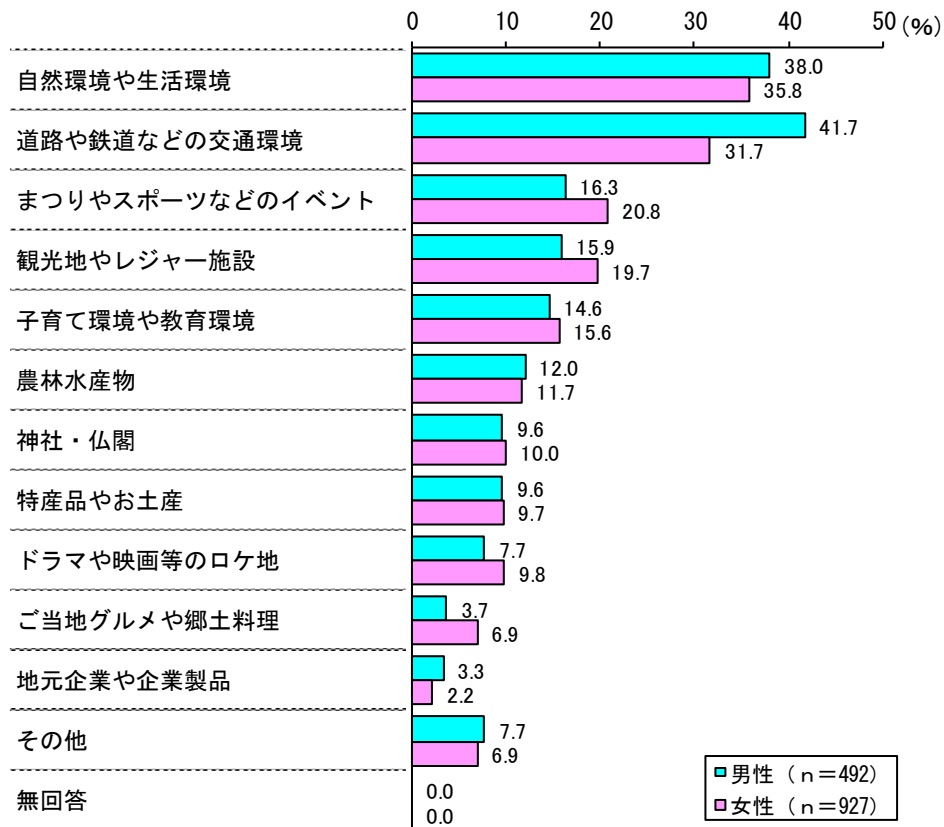
② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力については、「自然環境や生活環境」が36.4%で最も高く、次いで「道路や鉄道などの交通環境」が35.2%、「まつりやスポーツなどのイベント」が19.1%、「観光地やレジャー施設」が18.4%、「子育て環境や教育環境」が15.2%となっている。



性別で見ると、「道路や鉄道などの交通環境」では男性（41.7%）が女性（31.7%）より10.0ポイント高くなっている。一方、「まつりやスポーツなどのイベント」では女性（20.8%）が男性（16.3%）より4.5ポイント高くなっている。

<図表 住んでいる地域の魅力ー大学生・短期大学生（性別）>

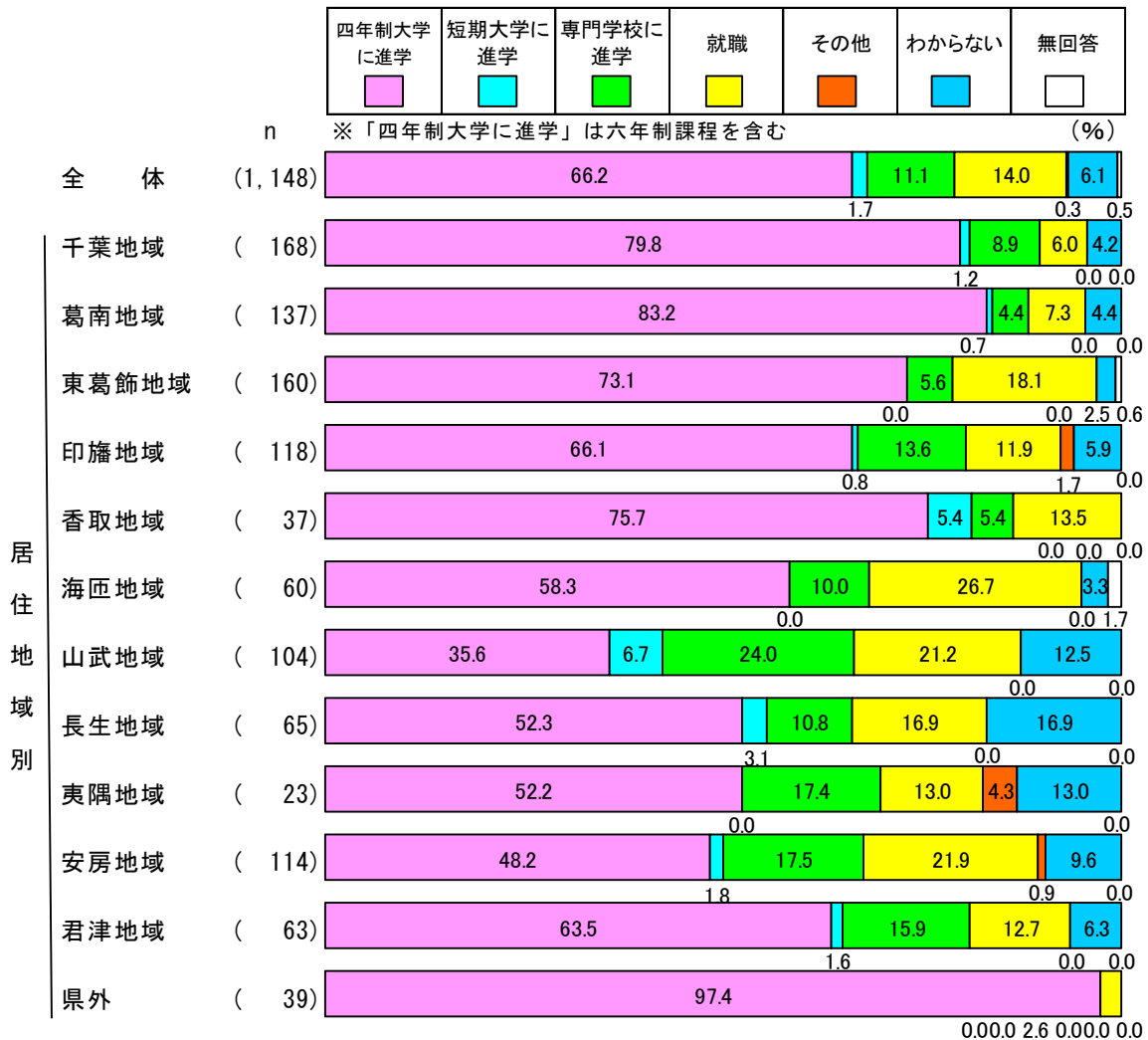


5. 居住地・出身地域別分析

(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望を居住地別でみると、「四年制大学に進学」は県外で97.4%、葛南地域で83.2%、千葉地域で79.8%、香取地域で75.7%、東葛飾地域で73.1%と高くなっている。「専門学校に進学」は山武地域で24.0%と高くなっている。「就職」は海匝地域で26.7%と高くなっている。

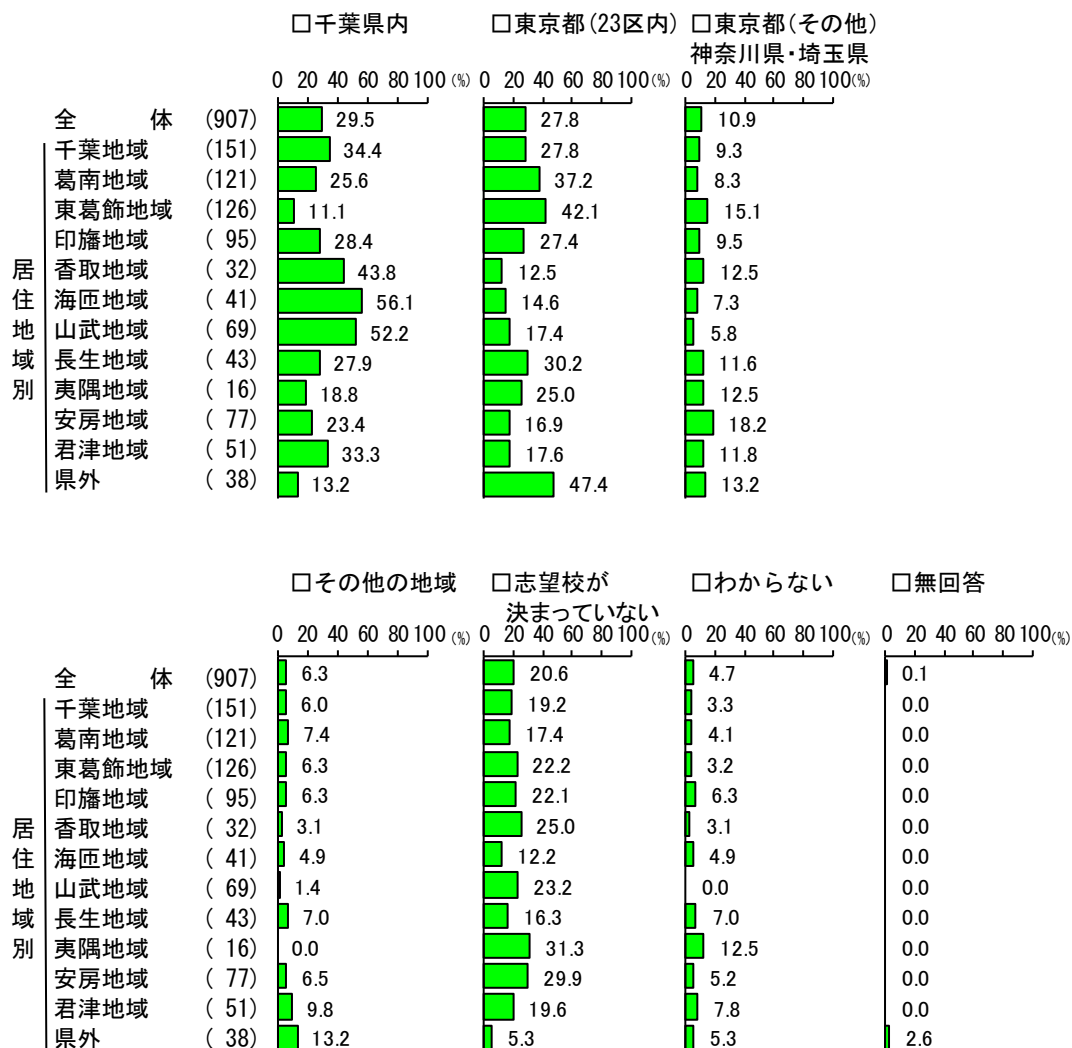
<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望—高校生（居住地別）>



(2) 高校生の第一志望の学校の所在地

高校生の第一志望の学校の所在地を居住地域別でみると、「千葉県内」は海匝地域で 56.1%、山武地域で 52.2%、香取地域で 43.8%と高くなっている。「東京都(23区内)」は県外で 47.4%、東葛飾地域で 42.1%と高くなっている。また、「志望校が決まっていない」は夷隅地域で 31.3%、安房地域で 29.9%と高くなっている。

<図表 第一志望の学校の所在地—高校生(居住地域別)>



(3) 高校生の就職を希望している業界

高校生の就職を希望している業界を居住地域別で見ると、「医療」は千葉地域、海匝地域、山武地域、長生地域、夷隅地域、県外の6地域で第1位となっている。(同率1位を含む)

「IT関係、ソフトウェア」は葛南地域、東葛飾地域、山武地域、君津地域の4地域で第1位となっている。(同率1位を含む)

「教育、保育」は印旛地域、香取地域の2地域で第1位となっている。

「宿泊・飲食サービス」は安房地域で第1位となっている。

<図表 就職を希望している業界—高校生(居住地域別・上位5業界)> (%)

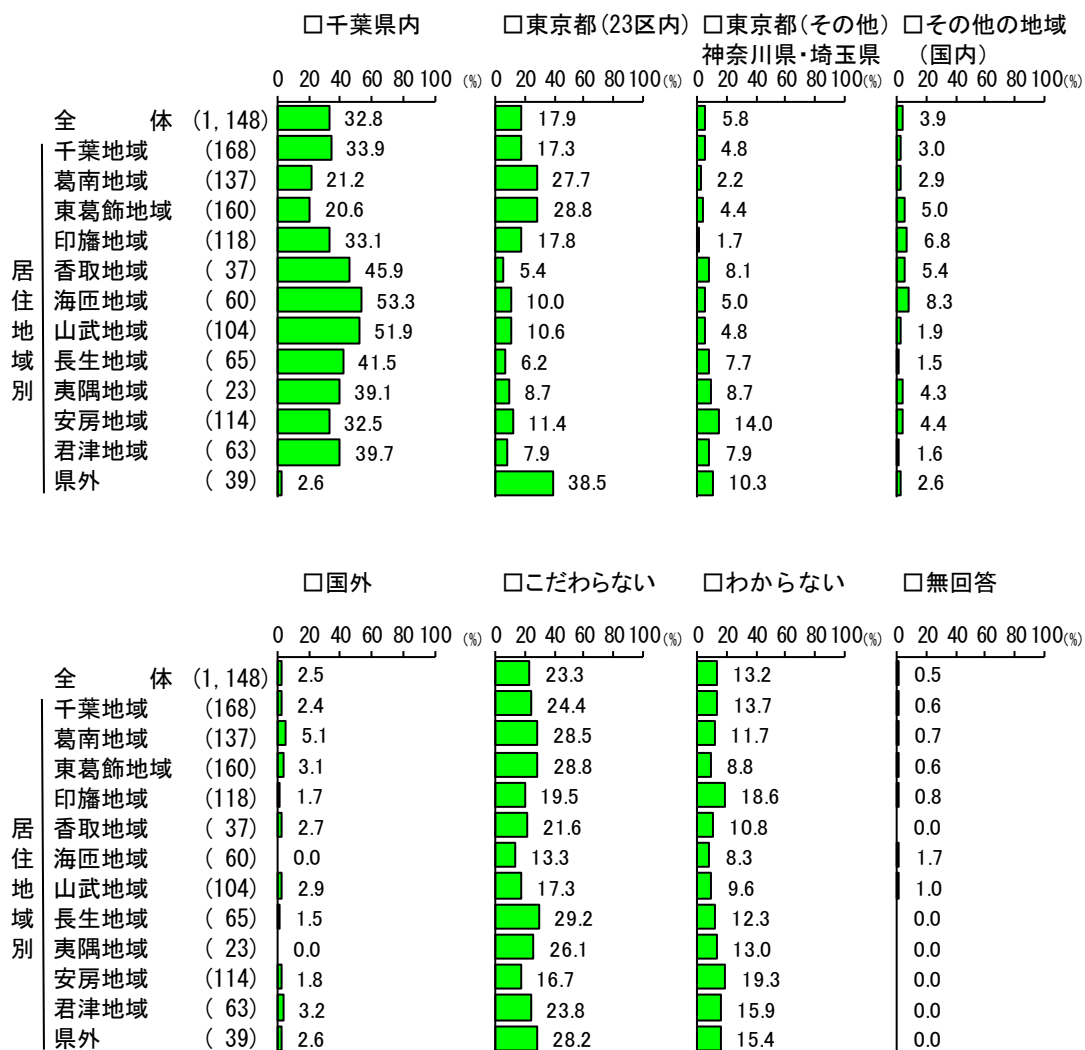
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,148	IT関係、ソフトウェア (11.0)	医療 (10.8)	教育、保育 (8.1)	製造/学術研究、専門・技術サービス (4.3)	
居 住 地 域 別	千葉地域	168	医療 (13.7)	教育、保育 (10.7)	IT関係、ソフトウェア (9.5)	金融、保険、不動産 (5.4)	製造/学術研究、 専門・技術サービス (4.8)
	葛南地域	137	IT関係、ソフトウェア (13.9)	医療 (13.1)	教育、保育/官公庁・公社・団体 (6.6)		学術研究、専門・技 術サービス (5.8)
	東葛飾地域	160	IT関係、ソフトウェア (10.6)	製造 (10.0)	医療 (8.8)	教育、保育 (6.3)	官公庁・公社・団体/ 鉄道、航空、運輸、物 流/建設 (5.0)
	印旛地域	118	教育、保育 (11.9)	IT関係、ソフトウェア/学術研究、専門・技 術サービス (6.8)		医療/マスコミ、出版、印刷 (5.1)	
	香取地域	37	教育、保育 (13.5)	学術研究、専門・技術サービス/官公庁・公社・団体/金融、保険、不動産/製造/ 福祉 (5.4)			
	海匝地域	60	医療 (15.0)	IT関係、ソフトウェア (10.0)	官公庁・公社・団体 (8.3)	教育、保育 (6.7)	製造/食品、農林、水 産 (5.0)
	山武地域	104	IT関係、ソフトウェア/医療 (12.5)		教育、保育 (7.7)	建設 (2.9)	官公庁・公社・団体/ 食品、農林、水産/学 術研究、専門・技術 サービス/販売/福 祉 (1.9)
	長生地域	65	医療 (16.9)	IT関係、ソフトウェア (13.8)	官公庁・公社・団体 (7.7)	教育、保育/宿泊、飲食サービス (4.6)	
	夷隅地域	23	医療 (17.4)	IT関係、ソフトウェア/教育、保育/鉄道、航空、運輸、物流 (8.7)			官公庁・公社・団体/ 宿泊、飲食サービ ス/アミューズメン ト、レジャー (4.3)
	安房地域	114	宿泊、飲食サービス (11.4)	教育、保育 (10.5)	IT関係、ソフトウェア/食品、農林、水産 (6.1)		官公庁・公社・団体/ 販売/マスコミ、出 版、印刷 (3.5)
君津地域	63	IT関係、ソフトウェア (28.6)	医療 (15.9)	食品、農林、水産 (4.8)	教育、保育/製造 (3.2)		
県外	39	医療 (15.4)	学術研究、専門・技 術サービス (12.8)	IT関係、ソフトウェア (10.3)	金融、保険、不動産 (7.7)	教育、保育/鉄道、 航空、運輸、物流/ 官公庁・公社・団体 (2.6)	

※「その他」「こだわらない」「わからない」「無回答」は除く

(4) 高校生の将来希望する勤務地

高校生の将来希望する勤務地を居住地域別で見ると、「千葉県内」は海匝地域で53.3%、山武地域で51.9%、香取地域で45.9%と高くなっている。「東京都(23区内)」は県外で38.5%と高くなっている。

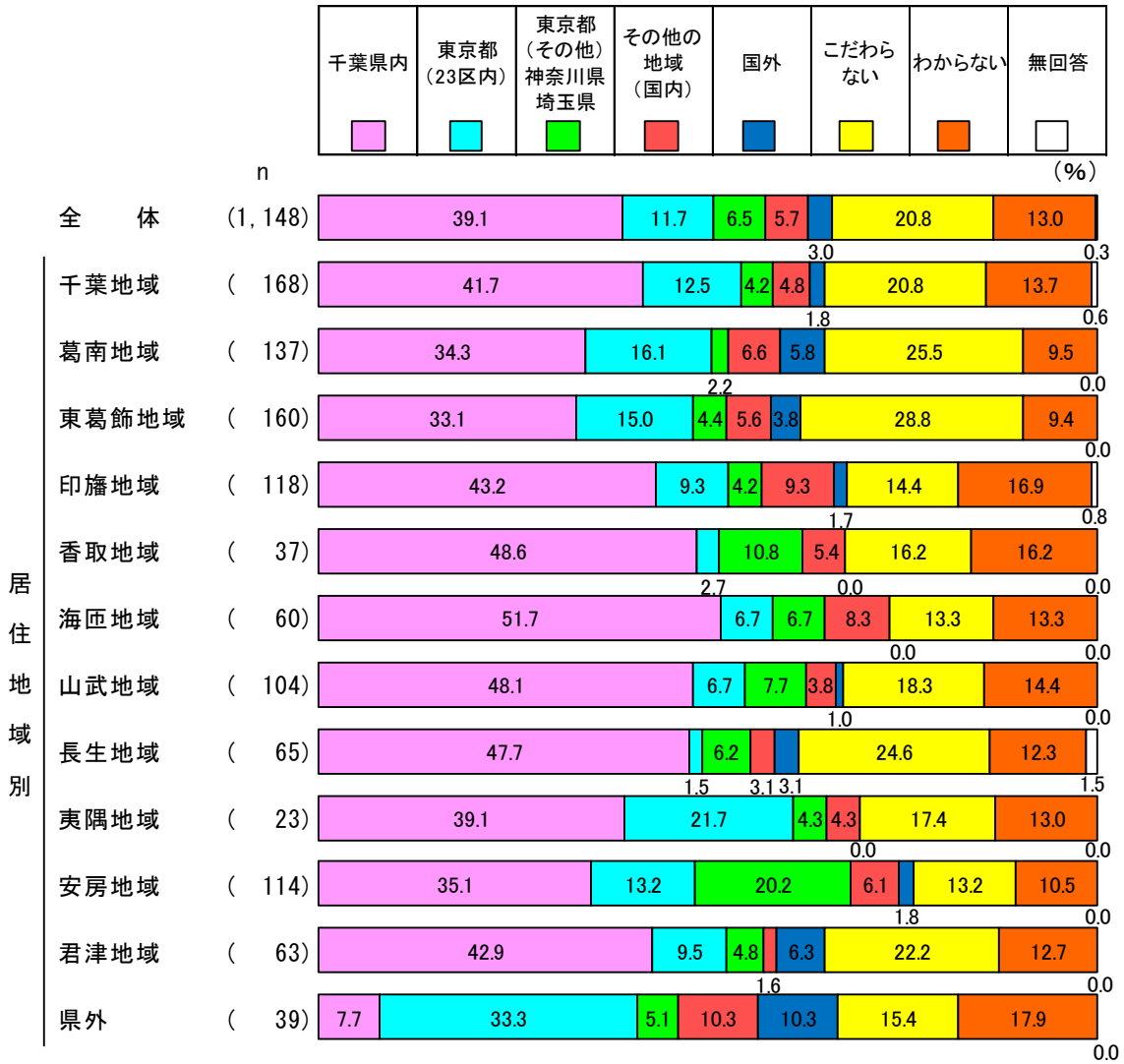
<図表 将来希望する勤務地—高校生(居住地域別)>



(5) 高校生の就職後の居住地の希望

高校生の就職後の居住地の希望を居住地域別でみると、「千葉県内」は海匝地域で51.7%、香取地域で48.6%、山武地域で48.1%と高くなっている。「東京都(23区内)」は県外で33.3%と高くなっている。また、「こだわらない」は東葛飾地域で28.8%と高くなっている。

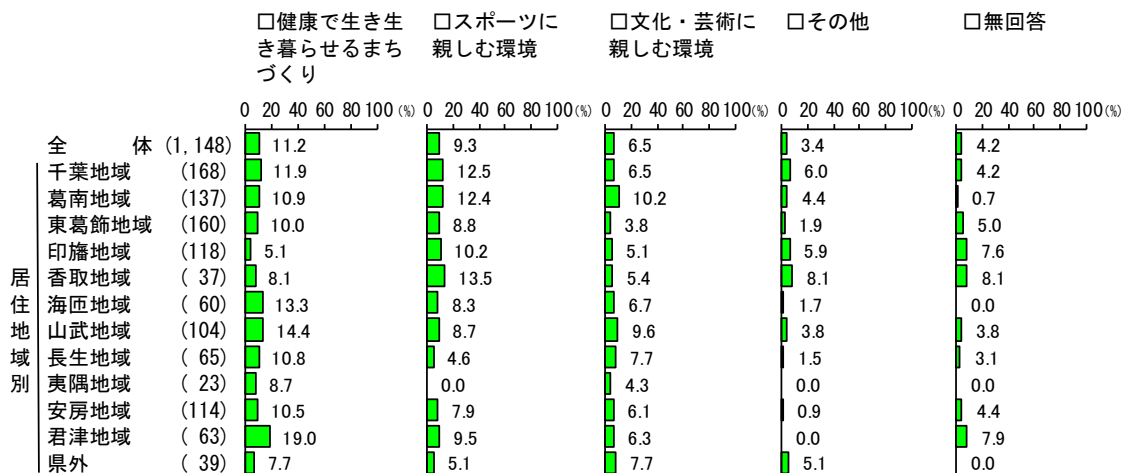
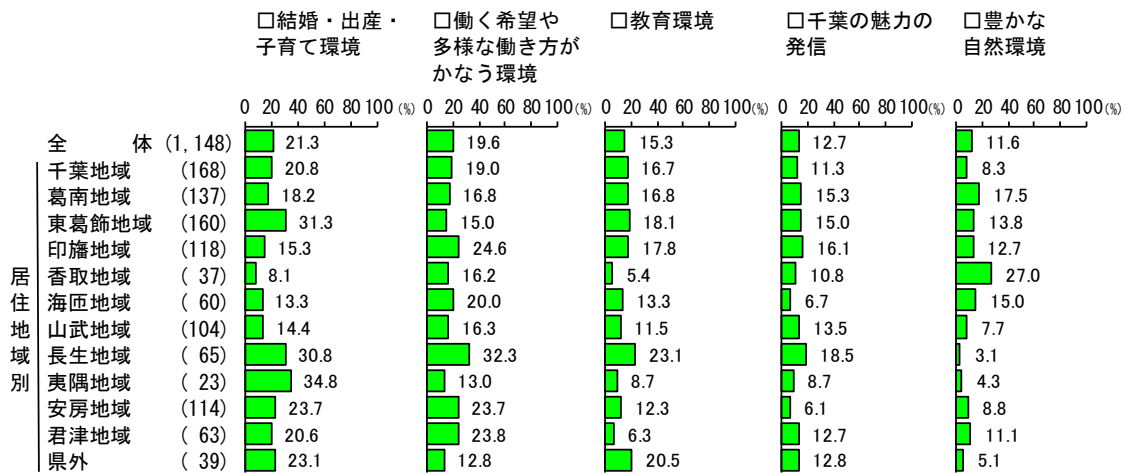
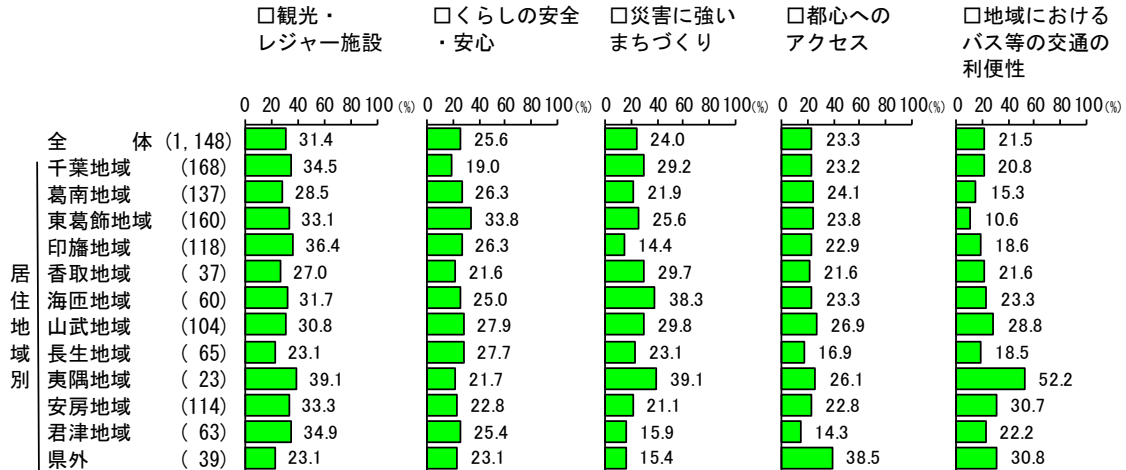
<図表 就職後の居住地の希望—高校生(居住地域別) >



(6) 高校生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことを居住地域別でみると、「災害に強いまちづくり」は夷隅地域で39.1%、海匝地域で38.3%と高くなっている。「都心へのアクセス」は県外で38.5%と高くなっている。「地域におけるバス等の交通の利便性」は夷隅地域で52.2%と高くなっている。

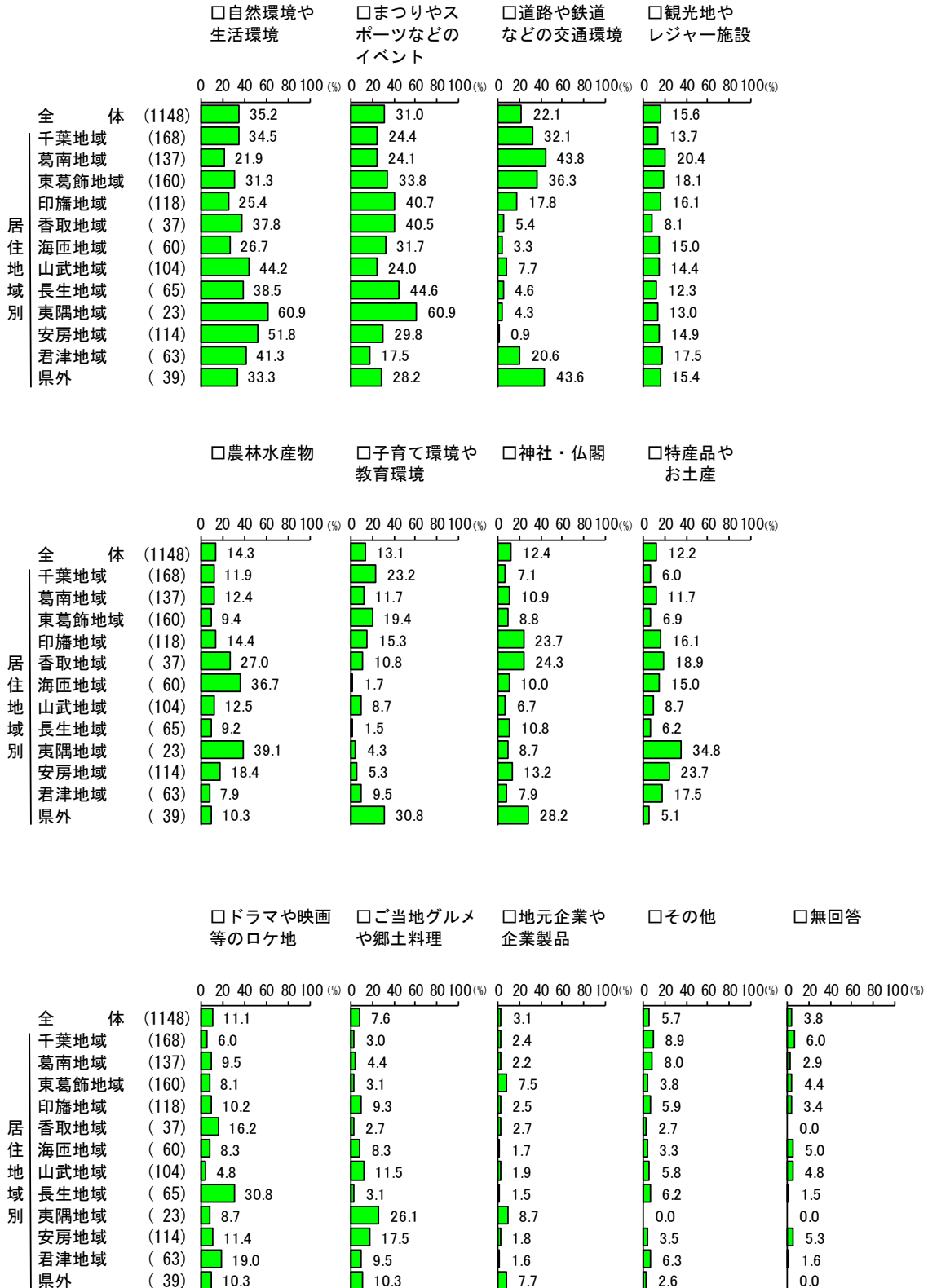
＜図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと－高校生（居住地域別）＞



(7) 高校生の住んでいる地域の魅力

高校生の現在住んでいる地域の魅力について居住地域別でみると、「自然環境や生活環境」は夷隅地域で60.9%、安房地域で51.8%と高くなっている。「まつりやスポーツなどのイベント」は夷隅地域で60.9%、長生地域で44.6%と高くなっている。「道路や鉄道などの交通環境」は葛南地域で43.8%、県外で43.6%と高くなっている。

<図表 住んでいる地域の魅力－高校生（居住地域別）>



(8) 大学生・短期大学生の就職を希望している業界

大学生・短期大学生の就職を希望している業界を居住地域別でみると、「医療」は千葉地域、葛南地域、東葛飾地域、海匝地域、山武地域、長生地域、夷隅地域、安房地域、県外の9地域で第1位となっている。(同率1位を含む)

「教育、保育」は東葛飾地域、印旛地域、香取地域、夷隅地域、安房地域、君津地域の6地域で第1位となっている。(同率1位を含む)

<図表 就職を希望している業界—大学生・短期大学生（居住地域別・上位5業界）>

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		1,438	医療 (32.4)	教育、保育 (22.1)	学術研究、専門・技術サービス (6.3)	IT関係、ソフトウェア (5.8)	官公庁・公社・団体 (5.1)
居住地域別	千葉地域	476	医療 (25.2)	教育、保育 (21.8)	学術研究、専門・技術サービス (10.1)	官公庁・公社・団体 (7.1)	製造 (5.5)
	葛南地域	189	医療 (19.6)	教育、保育 (17.5)	IT関係、ソフトウェア (14.3)	学術研究、専門・技術サービス (7.9)	官公庁・公社・団体 (6.3)
	東葛飾地域	79	教育、保育／医療 (16.5)		IT関係、ソフトウェア／学術研究、専門・技術サービス／官公庁・公社・団体 (10.1)		
	印旛地域	124	教育、保育 (44.4)	医療 (29.0)	IT関係、ソフトウェア (4.8)	食品、農林、水産 (3.2)	学術研究、専門・技術サービス (2.4)
	香取地域	31	教育、保育 (71.0)	医療 (16.1)	製造 (3.2)		
	海匝地域	37	医療 (40.5)	教育、保育 (27.0)	食品、農林、水産／製造／金融、保険、不動産／福祉／官公庁・公社・団体 (2.7)		
	山武地域	252	医療 (68.3)	教育、保育 (11.5)	福祉 (2.4)	鉄道、航空、運輸、物流 (2.0)	官公庁・公社・団体 (1.6)
	長生地域	24	医療 (41.7)	教育、保育 (37.5)	IT関係、ソフトウェア (8.3)	学術研究、専門・技術サービス／官公庁・公社・団体 (4.2)	
	夷隅地域	6	教育、保育／医療 (50.0)				
	安房地域	2	教育、保育／医療 (50.0)				
	君津地域	33	教育、保育 (33.3)	医療 (30.3)	食品、農林、水産／製造／官公庁・公社・団体 (6.1)		
	県外	185	医療 (23.8)	教育、保育 (15.1)	学術研究、専門・技術サービス (8.1)	IT関係、ソフトウェア (7.0)	食品、農林、水産 (6.5)

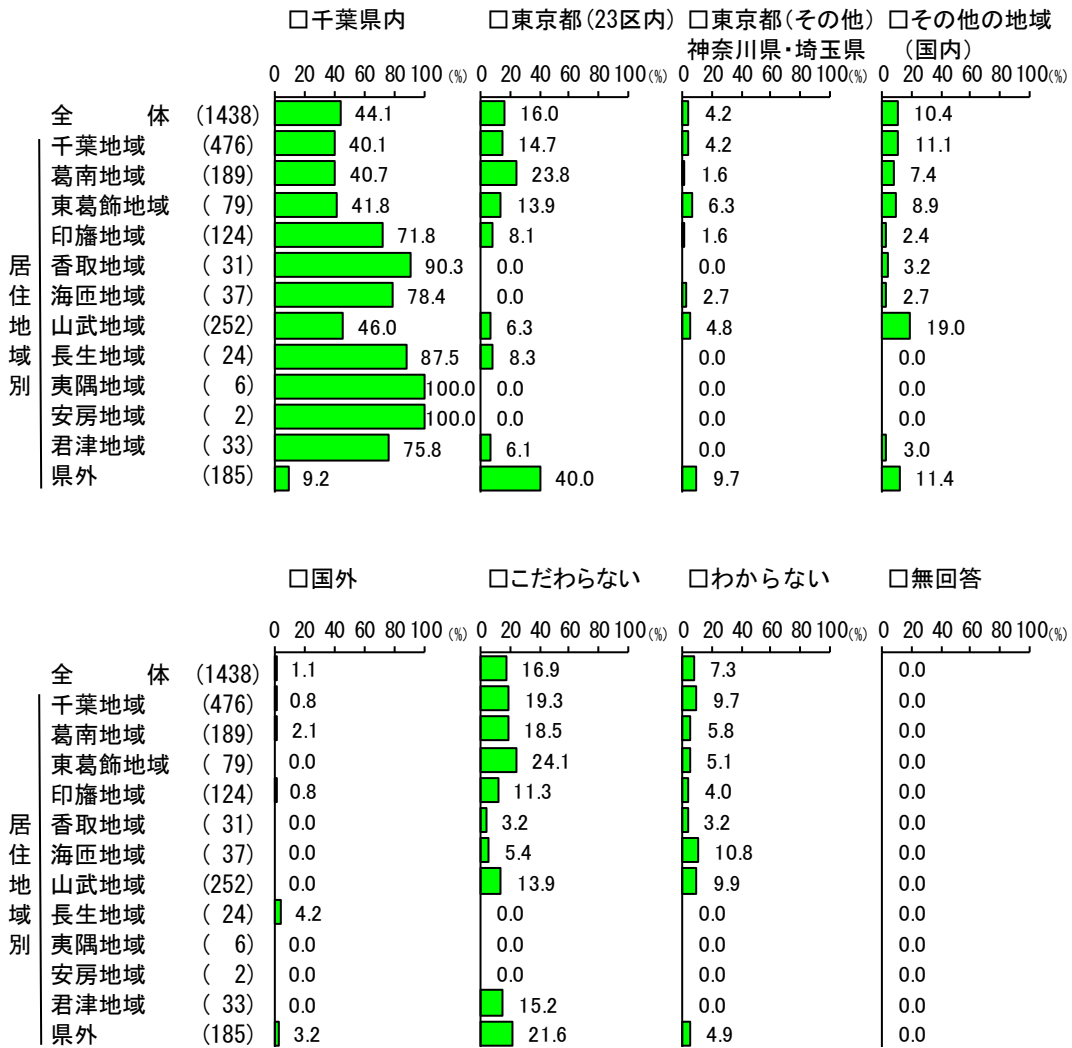
※「その他」「こだわらない」「わからない」「無回答」は除く

(9) 大学生・短期大学生の将来希望する勤務地

大学生・短期大学生の将来希望する勤務地を居住地地域別で見ると、「千葉県内」は、香取地域で90.3%、長生地域で87.5%と高くなっている。夷隅地域と安房地域は100.0%と高いが、基数が少ないため参考情報とする。

また、「東京都（23区内）」は県外で40.0%と高くなっている。

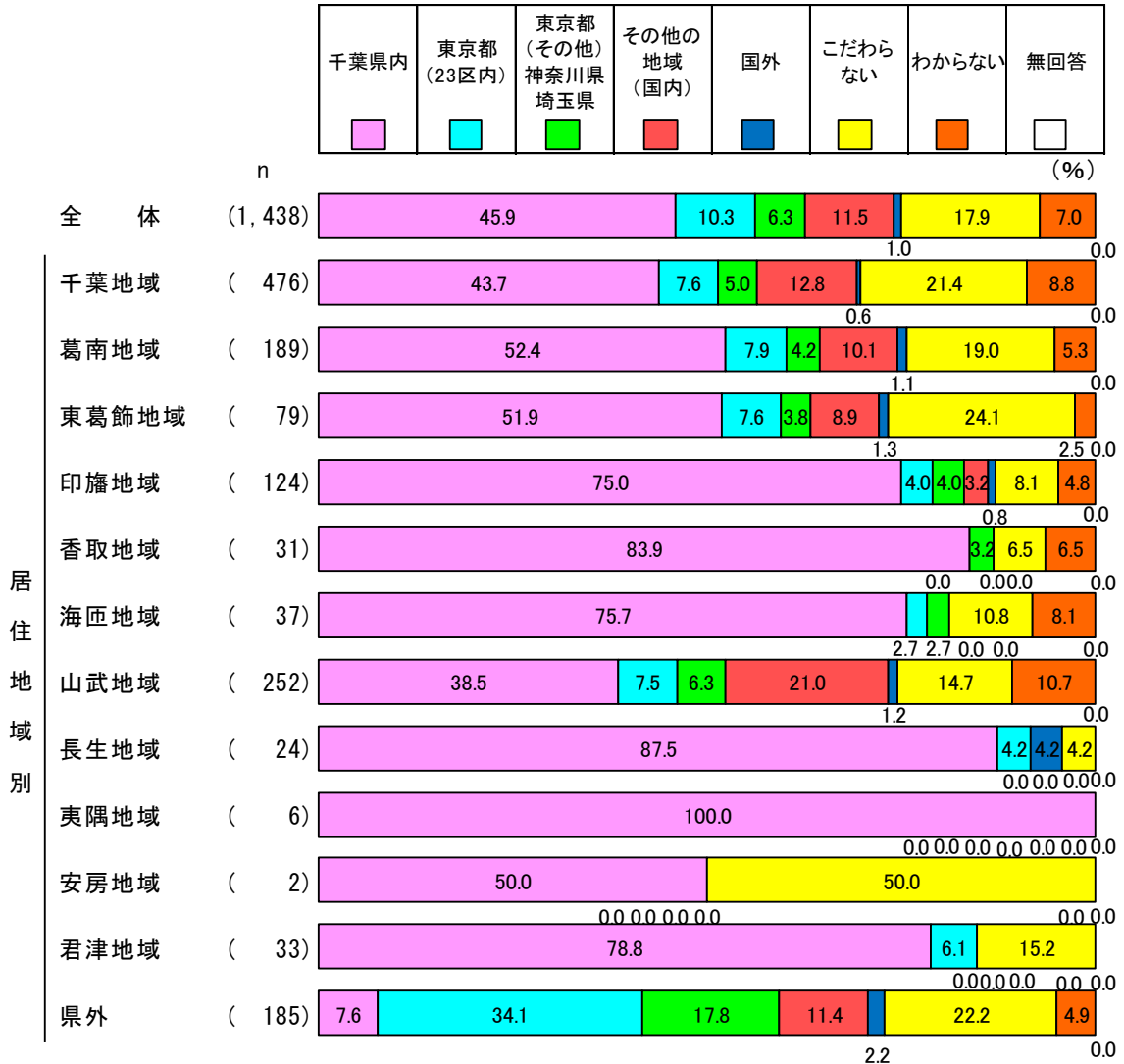
<図表 将来希望する勤務地—大学生・短期大学生（居住地地域別）>



(10) 大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望

大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望を出身地域別でみると、「千葉県内」は長生地域で87.5%、香取地域で83.9%と高くなっている。夷隅地域は100.0%と高いが、基数が少ないため参考情報とする。

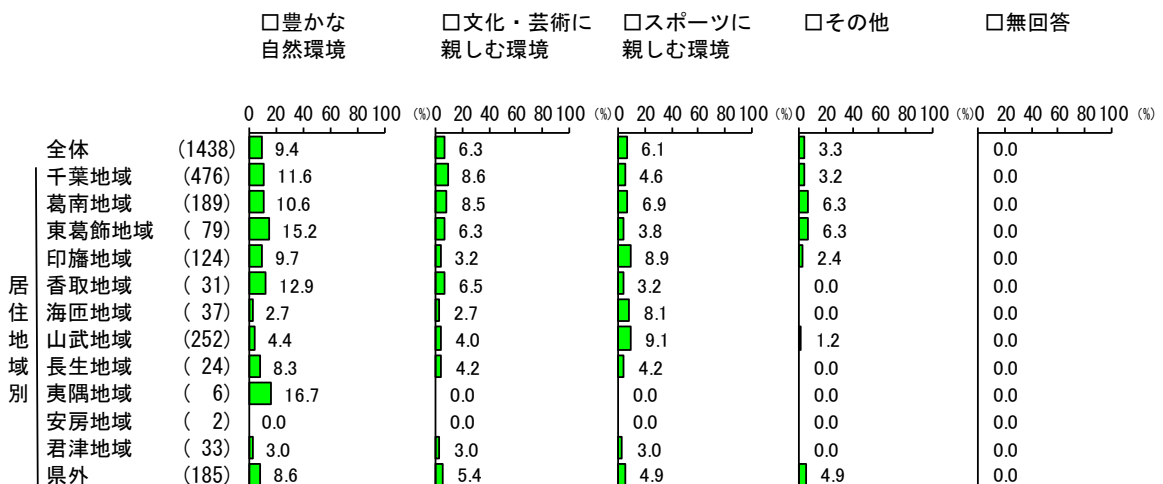
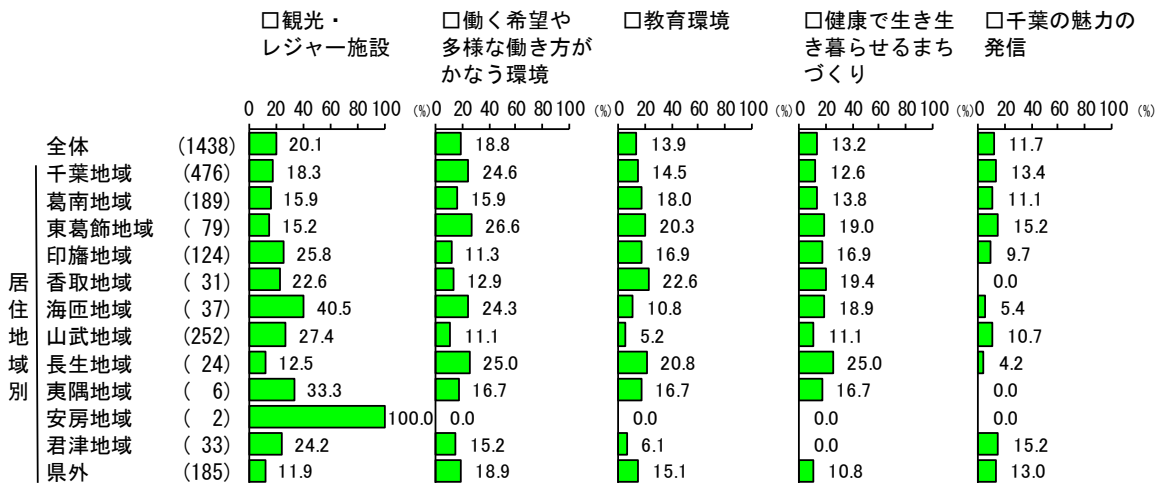
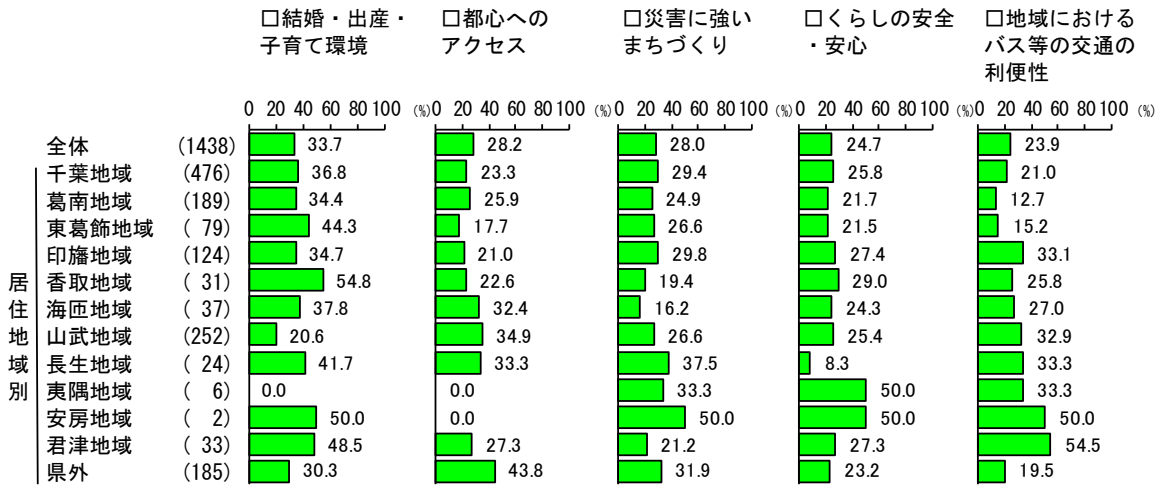
<図表 就職後の居住地の希望－大学生・短期大学生（居住地域別）>



(11) 大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

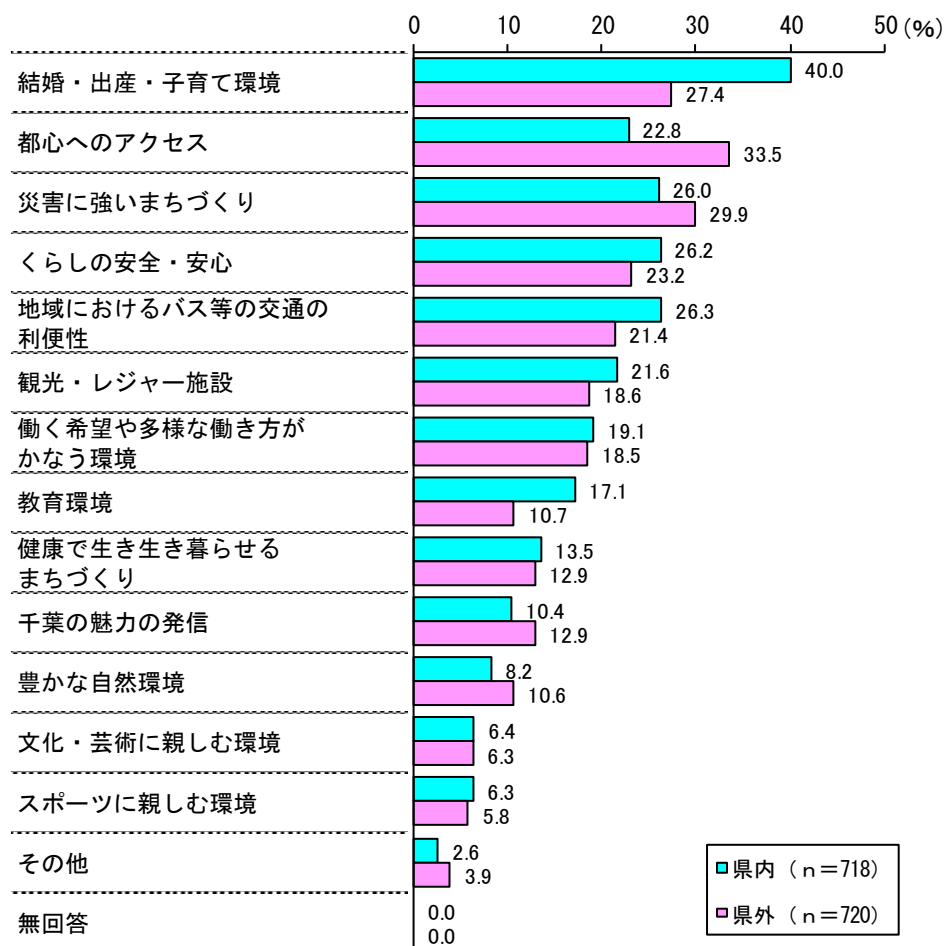
大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことを居住地域別で見ると、「結婚・出産・子育て環境」は香取地域で54.8%と高くなっている。「都心へのアクセス」は県外で43.8%と高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことー大学生・短期大学生（居住地域別）>



大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことを出身地別で見ると、「結婚・出産・子育て環境」は県内出身者（40.0%）が県外出身者（27.4%）より12.6ポイント、「教育環境」は県内出身者（17.1%）が県外出身者（10.7%）より6.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「都心へのアクセス」は県外出身者（33.5%）が県内出身者（22.8%）より10.7ポイント高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと—大学生・短期大学生（出身地別）>



(12) 大学生・短期大学生の住んでいる地域の魅力

大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力について居住地域別でみると、「道路や鉄道などの交通環境」は県外で60.0%、東葛飾地域で55.7%、葛南地域で50.8%と高くなっている

<図表 住んでいる地域の魅力—大学生・短期大学生（居住地域別）>



大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力について出身地別で見ると、「まつりやスポーツなどのイベント」は県内出身者（28.4%）が県外出身者（9.9%）より 18.5 ポイント、「ドラマや映画等のロケ地」は県内出身者（11.7%）が県外出身者（6.3%）より 5.4 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「道路や鉄道などの交通環境」は県外出身者（42.6%）が県内出身者（27.7%）より 14.9 ポイント高くなっている。

<図表 住んでいる地域の魅力—大学生・短期大学生（出身地別）>

